

PHILIPS

Professional
Display Solutions

X Line

55BDL4007X



www.philips.com/welcome
ユーザーマニュアル (日本語)

安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告:本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時:

- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ ディスプレイを油に近づけないでください。プラスチックカバーが損傷する可能性があります。
- ・ ディスプレイは十分に換気されている場所に設置してください。
- ・ 屋外で使用する場合は、紫外線フィルターが必要です。
- ・ 温度が高い、湿度が高い、表示頻度が高い、動作時間が長いなど、極端な条件下でディスプレイを使用する場合は、Philips のアプリケーションエンジニアにご相談ください。ご相談いただかなかった場合、ディスプレイの信頼性と機能への保証が損なわれる可能性があります。極端な条件は、空港、乗換駅、銀行、証券取引所、制御システムなどでよく見受けられます。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。
- ・ 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ・ ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落としたりしないでください。
- ・ アイボルトはメンテナンスや設置の際に短期間使用するためのものです。1 時間以上にわたって使用することは推奨されません。長期にわたっての使用は禁止されています。アイボルトを使用する際には、ディスプレイの下に障害物を置かないようにして安全エリアを確保してください。

メンテナンス:

- ・ ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かしているとき、フレームをつかんで持ち上げます。LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ・ ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ・ ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- ・ 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ・ ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。

環境的絶対定格

項目	最小	最大	単位
保管温度	-20	65	° C
動作温度	0	40	° C
ガラス面温度 (動作時)	0	65	° C
保管湿度	5	90	% RH
動作湿度	20	80	% RH

- ・ 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常に摂氏 25 度に保つ必要があります。
- ・ 適切な動作条件でディスプレイが使用された場合のみ、本仕様に記載されているディスプレイの寿命が保証されます。

重要:ディスプレイの顔を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「残像」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにする「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告:「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本製品が正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

安定性上の危険性。

ディスプレイが落下すると、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。怪我を防止するため、設置説明書に従って、床 / 壁にディスプレイをしっかりと固定してください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- ・ 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ **重要:**ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「残像」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると残像は時間と共に徐々に消えます。残像症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。
- ・ 電源コードに 3 ピン取り付けプラグが付属している場合は、接地（アース）された 3 ピンコンセントにコードを接続してください。2 ピンアダプターを取り付けるなどして、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

EU 適合宣言

本デバイスは電磁適合性(2014/30/EU)、低電圧指令(2014/35/EU)、RoHS 指令(2011/65/EU)、2009/125/EC(ErP 指令)に関連して、EU 加盟国の法律の近似に対して理事会指令が設定した要件に適合します。

本製品は、情報技術機器の整合規格、欧州連合官報の指令に基づき発行された整合規格に対して試験され、適合することが確認されています。

静電気放電の警告

モニターにユーザーが近づくと、機器で静電気が放電され、メインメニューの表示状態へ再起動される可能性があります。

警告:

本機器は EN55032/CISPR 32 のクラス A に適合しています。本機器は住宅地にて無線干渉を引き起こす場合があります。

連邦通信委員会 (FCC) 通知 (米国のみ)



注記:本装置は、FCC 規定第 15 章によるクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、本装置が商用環境において運用される場合に、有害な電波障害から合理的に保護するよう設計されています。本装置は、無線周波数を発生、使用、および放射しています。使用説明書どおりに設置し使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。本装置を住宅地で使用すると有害な電波障害を起こす恐れがあります。この場合、使用者が自費で障害を是正する必要があります。



この規定の適合性に対する有責当事者による明示的な承諾が無いにもかかわらず、この機器に変更を加えたり、或は改造したりした場合、この機器を操作するためのあなたの権限が取り消されますのでご注意ください。

本製品をコンピュータ機器に接続する際は、付属された RF シールドケーブルのみを使用してください。
火災および感電による怪我の危険を防ぐため、この製品を雨や過度の湿気に晒さないようにしてください。

本装置は FCC 規則第 15 章に準拠しています。次の 2 つの条件を前提として動作します。(1) 本装置が有害な干渉を起こさないこと。(2) 本装置が望まない操作から生じる干渉を含むあらゆる干渉を受け入れること。

Envision Peripherals Inc.
490 N McCarthy Blvd, Suite #120
Milpitas, CA 95035
USA

テストおよび認定通知用の研磨センター

装置は、付属の保護回路（三叉のソケット）の付いたソケットから電力を取る必要があります。共に作動するすべての装置（コンピュータ、ディスプレイ、プリンタなど）は、同じ電源装置を使用する必要があります。

部屋の電気設備の位相整合導体は、16 アンペア (A) 以下の公称値を持つヒューズの形の予備の短絡保護デバイスを使う必要があります。

装置を完全にオフに切り替えるには、電源ケーブルを装置の傍に取り付けられ容易に手の届く電源コンセントから取り外す必要があります。

保護マーク「B」は、装置が標準の PN-93/T-42107 と PN-89/E-06251 の保護使用要件に準拠していることを確認します。

Wymagania Polskiego Centrum Badań i Certyfikacji

Urządzenie powinno być zasilane z gniazda z przyłączonym obwodem ochronnym (gniazdo z kołkiem). Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 16A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazdka, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

Znak bezpieczeństwa "B" potwierdza zgodność urządzenia z wymaganiami bezpieczeństwa użytkowania zawartymi w PN-93/T-42107 i PN-89/E-06251.

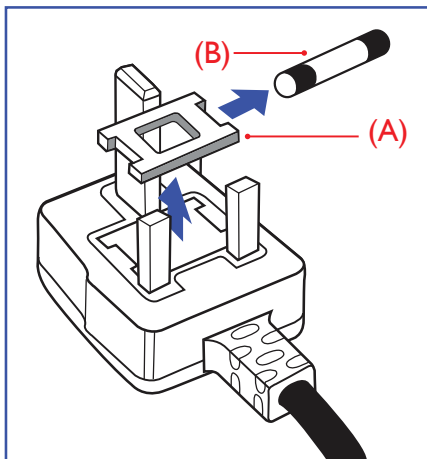
Pozostałe instrukcje bezpieczeństwa

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kołka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użycie przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia dopasowującego lub bezszkóceniowego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nadeptywać lub potykać się o nie.
- Nie należy rozlewać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wpychać żadnych przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładzenia luźnych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.

電気、磁気、電磁場（「EMF」）

1. 当社は消費者をターゲットとした多くの製品を製造し販売しており、他の電子装置同様、一般に電磁信号を放出し受け取る能力があります。
2. 主なビジネス原則の1つは、当社製品に対して必要なすべての健康的で安全な措置を講じる一方で、該当するすべての必要要件に適合し、製品の製造時に該当する EMF 基準を超えないということです。
3. 当社は健康に悪影響を及ぼさない製品を開発し、製造し販売することに全力で取り組んでいます。
4. また、製品が使用目的に従って適切に扱われる場合、今日分かっている科学的証拠に従って安全に使用できることを確認しています。
5. また、国際的 EMF と安全基準の開発に積極的な役割を果たして、製品の早期統合のためのさらなる開発に先駆けて着手しています。

英国のみの情報



警告 - この電気器具はアースする必要があります。

重要:

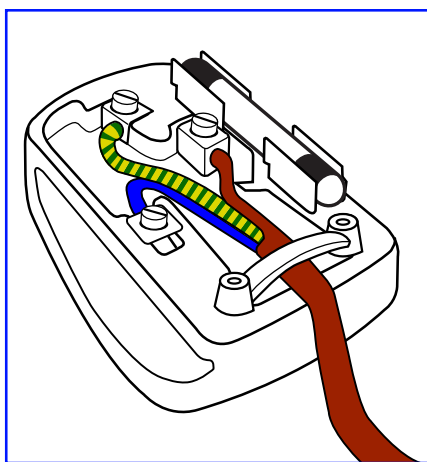
この電気器具には、承認済みのモールドされた 13A プラグが装備されています。このタイプのプラグのヒューズを交換するには、以下の手順に従います。

1. ヒューズカバーとヒューズを取り外します。
2. BS 1362 5A、A.S.T.A. または BSI 認可タイプの新しいヒューズを取り付けます。
3. ヒューズカバーを元に戻します。

取り付けられたプラグが壁コンセントに適してしない場合、切り取って適切な 3 ピンプラグを正しい位置に取り付ける必要があります。

差し込みプラグにヒューズが含まれている場合、5A の値になっているか確認してください。ヒューズのないプラグを使用する場合、分電盤のヒューズは 5A 以下にする必要があります。

注記: 切断されたプラグは、他の場所の 13A ソケットに差し込まれた場合感電の原因となるため、壊す必要があります。



プラグの接続法

分岐線のワイヤーは、次のコードに従って着色されています。

- 青 - 「中性」(「N」)
- 茶 - 「通電」(「L」)
- 緑 & 黄 - 「アース」(「E」)

1. 緑と黄のワイヤーは、「E」の文字またはアース記号、または緑または緑 & 黄色でマークされたプラグの端子に接続する必要があります。
 2. 青のワイヤーは、「N」の文字または黒い色でマークされた端子に接続する必要があります。
 3. 茶のワイヤーは、「L」の文字または赤い色でマークされた端子に接続する必要があります。
- プラグカバーを元に戻す前に、コードグリップが 3 本のワイヤーの上だけでなく鉛の被膜の上でも固定されていることを確認してください。

北欧 (スカンジナビア諸国) 情報

Placering/Ventilation

VARNING:

FÖRSÄKRA DIG OM ATT HUVUDBRYTARE OCH UTTAG ÄR LÄTÅTKOMLIGA, NÄR DU STÄLLER DIN UTRUSTNING PÅPLATS.

Placering/Ventilation

ADVARSEL:

SØRG VED PLACERINGEN FOR, AT NETLEDNINGENS STIK OG STIKKONTAKT ER NEMT TILGÆNGLIGE.

Paikka/Ilmankierto

VAROITUS:

SIVOITA LAITE SITEN, ETTÄ VERKKOJOHTO VOIDAAN TARVITTAESSA HELPOSTI IRROTTAA PISTORASIESTA.

Plassering/Ventilasjon

ADVARSEL:

NÅR DETTE UTSTYRET PLASSERES, MÅ DU PASSE PÅ AT KONTAKTENE FOR STØMTILFØRSEL ER LETTE Å NÅ.

China RoHS

根据中国大陆《电器电子产品有害物质限制使用管理办法》，以下部分列出了本产品中可能包含的有害物质的名称和含量。

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外壳	○	○	○	○	○	○
液晶显示屏	×	○	○	○	○	○
电路板组件*	×	○	○	○	○	○
电源适配器	×	○	○	○	○	○
电源线/连接线	×	○	○	○	○	○
遥控器	X	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T 11364 的规定编制。

*: 电路板组件包括印刷电路板及其构成的零部件, 如电阻、电容、集成电路、连接器等。

○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。

上表中打“×”的部件, 应功能需要, 部分有害物质含量超出GB/T 26572规定的限量要求, 但符合欧盟RoHS法规要求(属于豁免部分)。

备注: 上表仅做为范例, 实际标示时应依照各产品的实际部件及所含有害物质进行标示。



环保使用期限

此标识指期限(十年), 电子电气产品中含有的有害物质在正常使用的条件下不会发生外泄或突变, 电子电气产品用户使用该电子电气产品不会对环境造成严重污染或对其人身、财产造成严重损害的期限。

《废弃电器电子产品回收处理管理条例》提示性说明

为了更好地关爱及保护地球, 当用户不再需要此产品或产品寿命终止时, 请遵守国家废弃电器电子产品回收处理相关法律法规, 将其交给当地具有国家认可的回收处理资质的厂商进行回收处理, 不当利用或者处置可能会对环境和人类健康造成影响。

警告

此为 A 级产品。在生活环境中, 该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下, 可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。

單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr ⁺⁶)	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
塑料外框	○	○	○	○	○	○
後殼	○	○	○	○	○	○
液晶面板	—	○	○	○	○	○
電路板組件	—	○	○	○	○	○
電源線	—	○	○	○	○	○
其他線材	—	○	○	○	○	○
遙控器	—	○	○	○	○	○
喇叭(選配)	—	○	○	○	○	○
風扇(選配)	—	○	○	○	○	○
備考1. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 備考2. “—” 係指該項限用物質為排除項目。						

警語：使用過度恐傷害視力。

注意事項：

- (1) 使用30分鐘請休息10分鐘。
- (2) 未滿2歲幼兒不看螢幕，2歲以上每天看螢幕不要超過1小時。

警告使用者：

此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

Turkey RoHS:

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS:

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

使用済み後の廃棄

新しい公共情報ディスプレイには、リサイクルされ再利用できる材料が含まれています。専門企業は再利用できる材料の量を増やし、廃棄する量を最小限に抑えるために製品をリサイクルできます。

最寄りの Philips 販売店から、古いディスプレイを破棄する方法に関する地方条例の情報をお尋ねください。

(カナダと米国の顧客向け)

本製品には鉛や水銀が含まれています。州や連邦政府の規制に従って廃棄してください。リサイクルの追加情報については、www.eia.org (消費者教育イニシアチブ) にお問い合わせください

廢電氣電子機器 -WEEE

欧州連合の個人の住宅のユーザーへの注意



製品やそのパッケージについているこのマーキングは、使用される電気・電子機器を管理する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品が通常の家庭ごみと一緒に廃棄できないことを示しています。ユーザーには、指定された廃電気・電子機器の回収を通して、本機器を廃棄する責任があります。かかる廃電気・電子機器を出す場所については、地方自治体、家庭を回る廃棄物処理組織、製品を購入した店にお問い合わせください。

米国のユーザーへの注意

すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。廃棄またはリサイクル情報については、www.mygreenelectronics.com または www.eiae.org にお問い合わせください。

使用済み指令 - リサイクル



新しい公共情報ディスプレイには、新しいユーザーのためにリサイクルできるいくつかの材料が含まれています。

すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。



エナジースターは、省エネルギーを推進する米国の環境保護局 (EPA) とエネルギー省 (DOE) が管理するプログラムです。

本製品は省電力性を達成する「工場出荷時設定」でエナジースターに適合しています。

工場出荷時の画像設定を変更したり、他の機能を有効にすると、エナジースター基準を満足させる消費電力の限度を超えます。

エナジースタープログラムの詳細情報については、energystar.gov を参照してください。

危険物質の制限に対する宣言 (インド)

本製品は、「2016 年版電子廃棄物 (管理) 規則」、第 5 章、規則 16、サブ規則 (1) に適合します。新品の電気機器 / 電子機器とそれらのコンポーネント / 消耗材 / 部品 / スペアパーツに含まれる鉛 / 水銀 / カドミウム / 六価クロム / ポリ臭化ビフェニル / ポリ臭化時フェニルエーテルの最大濃度が、鉛 / 水銀 / 六価クロム / ポリ臭化ビフェニル / ポリ臭化ジフェニルエーテルの均質素材で重量の 0.1%、カドミウムの均質素材で重量の 0.01% を超えることはありません。ただし、規則のスケジュール 2 で指定された例外事項を除きます。

電子廃棄物に対する宣言 (インド)



製品やそのパッケージ上に記載されているこの記号は、その製品を他の家庭ごみと一緒に処分してはいけないことを示しています。電気・電子機器をリサイクルするために指定された収集場所に不要機器を持ち込み、責任を持って処分してください。分別収集やリサイクルを通して不要機器の処分することにより天然資源の保護に役立ち、人々の健康と環境を守る手段によって廃棄物をリサイクルできるようになります。電子廃棄物についての詳細は、<http://www.india.philips.com/about/sustainability/recycling/index.page> を参照してください。インドでのリサイクル用廃棄物の回収地点については、以下の連絡先へお問い合わせください。

ヘルプライン番号: 1800-425-6396 (月曜日～土曜日、9 a.m. ~ 5:30 pm)

メール: india.callcentre@tpv-tech.com

バッテリー



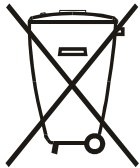
欧州用:「X」の付けられた車輪付きゴミ箱の記号は、使用済みのバッテリーを家庭用ごみと一緒にしてはならないことを示します。法令に基づいて適切に処理してリサイクルするため、使用済みバッテリーには別途の回収システムが設けられています。

回収とリサイクルの仕組みについては、現地の当局へお問い合わせください。

スイス:使用済みバッテリーは販売店へ返却する必要があります。

その他の EU 諸国:使用済みバッテリーの適切な廃棄方法については、現地の当局へお問い合わせください。

EU 指令 2006/66/EC に基づき、バッテリーは適切な方法で廃棄されなければなりません。バッテリーは地方自治体により分別回収されます。



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

EAC 向け情報	
製造年月	定格銘板に記載される情報を参照してください。
製造元の名前と所在地	ООО “Профтехника” Адрес: 3-й Проезд Марьиной роци, 40/1 офис 1. Москва, 127018, Россия
輸入業者とその情報	Наименование организации: ООО “Профтехника” Адрес: 3-й Проезд Марьиной роци, 40/1 офис 1. Москва, 127018, Россия Контактное лицо: Наталья Астафьева, +7 495 640 20 20 nat@profdisplays.ru

目次

1.	開梱と設置	1	4.3.2.	DLNA-DMP の使い方	16
1.1.	開梱	1	4.3.3.	PC から DLNA-DMR を使うには	17
1.2.	梱包箱に含まれているもの	1	4.4.	USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	18
1.3.	設置に関する注意	1	4.5.	再生オプション	18
1.4.	壁に取り付ける	2	4.5.1.	音楽ファイルの再生	18
1.4.1.	VESA 規格取付穴	2	4.5.2.	ムービーファイルの再生	18
1.5.	縦長向きの設置について	3	4.5.3.	写真ファイルの再生	19
1.6.	エッジアラインメントキットの使用法	4	4.6.	Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	19
1.6.1.	エッジアラインメントキットを取り付ける	4	5.	設定を変更するには	20
1.7.	エッジ仕上げキットの使用 (オプション)	5	5.1.	設定	20
2.	各部の機能	6	5.1.1.	画像	20
2.1.	コントロールパネル	6	5.1.2.	音声	21
2.2.	入力 / 出力端子	7	5.1.3.	タイトル	21
2.3.	リモコン	8	5.1.4.	ネットワーク	24
2.3.1.	一般の機能	8	5.1.5.	一般設定	24
2.3.2.	リモコン ID	9	5.1.6.	詳細設定	27
2.3.3.	リモコンに乾電池を挿入する	10	5.1.7.	ヘルプ	27
2.3.4.	リモコンの取り扱い	10	6.	USB デバイス互換性	28
2.3.5.	リモコンの動作範囲	10	7.	入力モード	30
3.	外部機器を接続する	11	8.	画素欠陥ポリシー	31
3.1.	外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	11	8.1.	画素とサブ画素	31
3.1.1.	コンポーネントビデオ入力の使用	11	8.2.	画素欠陥の種類 + ドット定義	31
3.1.2.	ビデオソース入力の使用	11	8.3.	明るいドット欠陥	31
3.1.3.	HDMI ビデオ入力の使用	12	8.4.	暗いドット欠陥	32
3.2.	PC の接続	12	8.5.	画素欠陥の近接	32
3.2.1.	VGA 入力の使用	12	8.6.	画素欠陥の許容範囲	32
3.2.2.	DVI 入力の使用	12	8.7.	MURA	32
3.2.3.	HDMI 入力の使用	13	9.	清掃とトラブルシューティング	33
3.2.4.	DisplayPort 入力の使用	13	9.1.	清掃	33
3.3.	オーディオ機器の接続	13	9.2.	トラブルシューティング	34
3.3.1.	外部スピーカーの接続	13	10.	保証に関する声明	35
3.4.	デジチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	14	11.	技術仕様	36
3.4.1.	ディスプレイコントロール接続	14			
3.4.2.	デジタルビデオ接続	14			
3.5.	IR 接続	14			
3.6.	IR パススルー接続	15			
3.7.	ケーブルを使ったネットワーク接続	15			
4.	取り扱い	16			
4.1.	接続されたビデオソースから鑑賞する	16			
4.2.	画像フォーマットを変更する	16			
4.3.	ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディアファイルを再生する	16			
4.3.1.	ネットワーク設定	16			

1. 開梱と設置

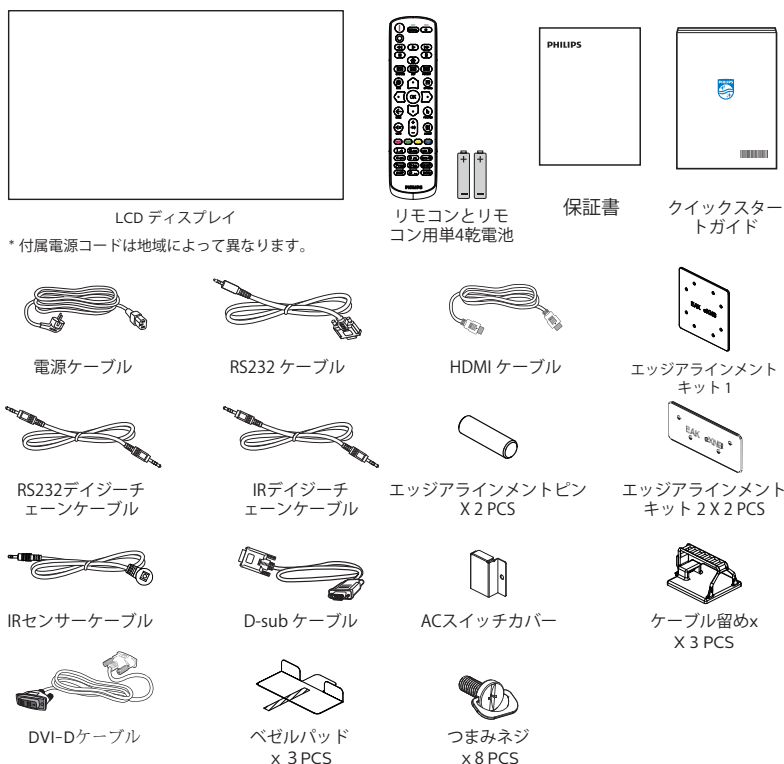
1.1. 開梱

- ・ 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に専用の箱に梱包されています。
- ・ オプションのアクセサリは、別途ご購入が必要です。
- ・ 本ディスプレイは背が高く重いため、移動させる際には 2 人の技術者が行うようにしてください。
- ・ 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認ください

1.2. 梱包箱に含まれているもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください：

- ・ LCD ディスプレイ
- ・ リモコン(単 4 乾電池)
- ・ 電源コード
- ・ DVI ケーブル
- ・ HDMI ケーブル
- ・ RS232 ケーブル
- ・ RS232 デイジーチェーンケーブル
- ・ IR センサーケーブル
- ・ IR ケーブル
- ・ クイックスタートガイド
- ・ エッジアラインメントキット 1: 1 個
- ・ エッジアラインメントキット 2: 2 個
- ・ エッジアラインメントピン : 2 個
- ・ AC スイッチカバー
- ・ ケーブル留め: 3 個
- ・ ギャップ用マイラー : 3 個



* 地域による差異。

ディスプレイのデザインとアクセサリは、上記例示したものと異なる場合があります。

メモ：

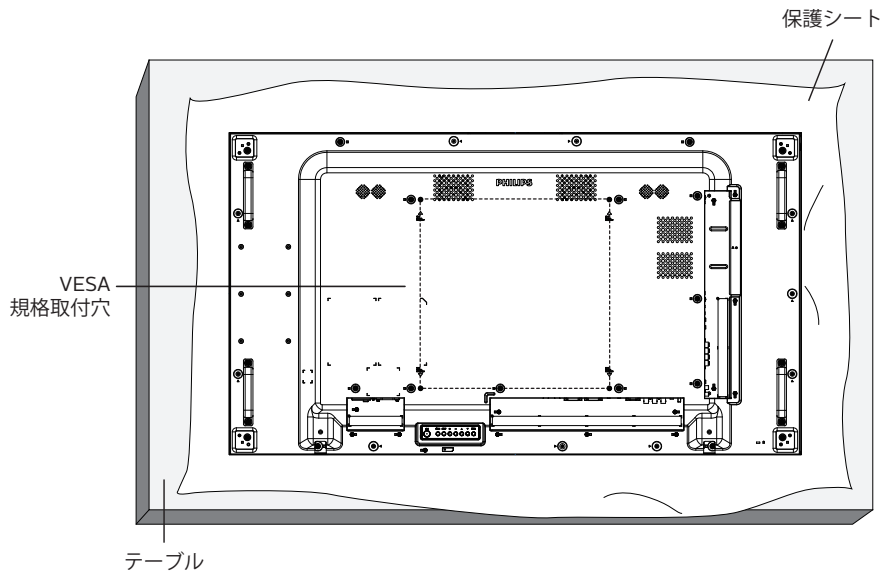
- ・ 他の地域の場合は、その地域のコンセントの AC 電圧と一致し、その国の安全規定で承認されている適合する電源コードを使用してください。
- ・ 本製品を運搬する際は、専用の梱包箱と梱包材の使用を推奨します。

1.3. 設置に関する注意

- ・ 本ディスプレイに付属する電源ケーブルのみを使用してください。延長コードが必要な場合は、代理店にお問い合わせください。
- ・ 本ディスプレイは、倒れるの可能性を考慮して、平らな面に設置してください。ディスプレイの背面と壁の間には、適切な換気が保てるようにスペースを確保してください。台所、浴室など、湿気のある場所に本ディスプレイを設置しないでください。こういった場所では、内部部品の寿命が短くなる可能性があります。
- ・ 高度が 3,000 m 以上の場所に本ディスプレイを設置しないでください。こういった場所では、誤動作する可能性があります。

1.4. 壁に取り付ける

壁に本ディスプレイを取り付ける場合は、標準の壁取り付けキット（市販品）が必要です。北米では TUV-GS および / または UL1678 規格に準拠した取り付け用インターフェイスを使用してください。



1. 平らな面に、梱包時に本ディスプレイを包んでいた保護シートを広げてください。画面を傷つけることなく、スムーズに取り付けられるように、保護シートの上に、ディスプレイを下に向けた状態で置いてください。
2. 取り付けのタイプ（壁掛け、天上取り付けなど）に必要なすべての付属品があることを確認してください。
3. 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意ください。
4. 壁掛け用取付金具には、M6 取付ねじ（取付ブラケットの厚さより10mm以上長いもの）を使用し、しっかりと固定して下さい。

1.4.1. VESA 規格取付穴

55BDL4007X	400 (横) x 400 (縦) mm
------------	----------------------

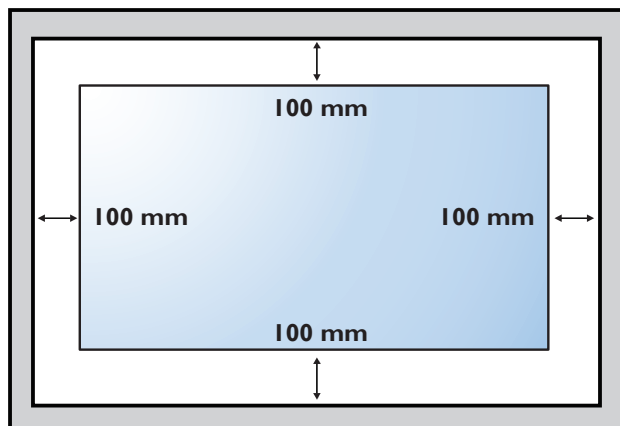
注意:

本製品の落下を防止するために：

- ・ 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置に関する詳細な手順については、ブラケットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ・ 地震または他の自然災害が発生した場合に本ディスプレイが落下することがないように、取り付けの位置については、ブラケットのメーカーにお問い合わせください。

換気用に必要なスペース

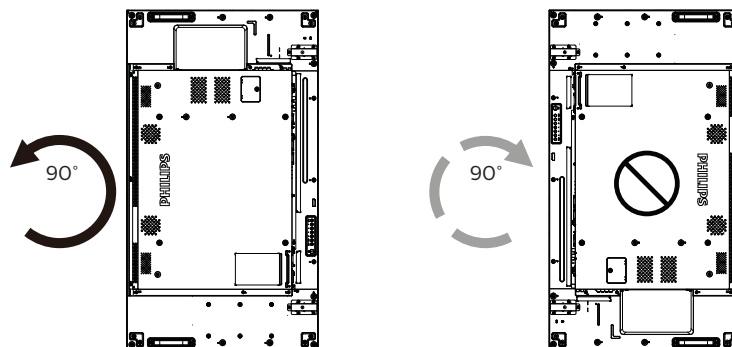
換気のために、上部、背面、左右に 100 mm のスペースを空けてください。



1.5. 縦長向きの設置について

本ディスプレイは、縦長向きに設置できます。

後ろから見て、ディスプレイを反時計回りに90度回転させてください。ディスプレイに向き合うと、「PHILIPS」ロゴが左側にくるはずですが。



本ディスプレイは前方、後方へ傾けて使用することが出来ません。

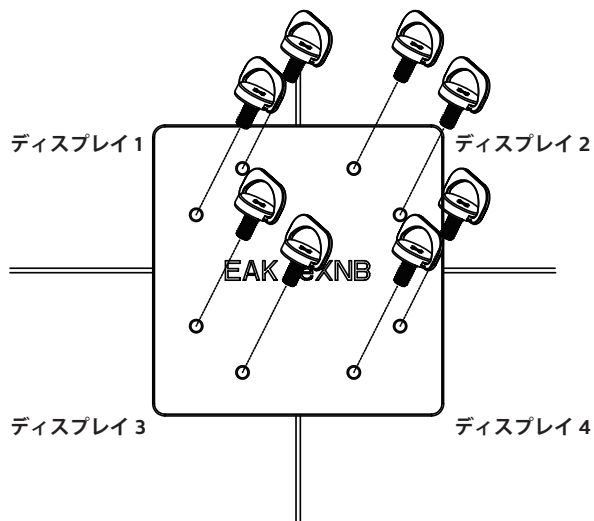
傾けて使用した場合はディスプレイの故障の原因となる恐れがあります。

傾けて使用し、故障した場合はメーカー保証対象外となります。

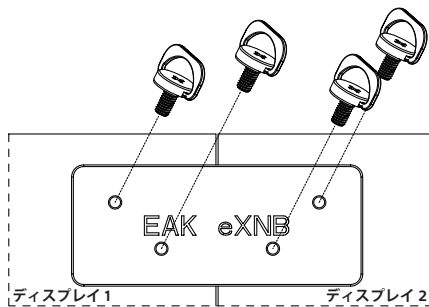
1.6. エッジアラインメントキットの使用法

1.6.1. エッジアラインメントキットを取り付ける

- ・ エッジアラインメントキットを取り付ける前に、ビデオウォールのフレームにディスプレイを正しく取り付けてください。
- ・ エッジアラインメントキットを取り付ける場合は、専門技術者にお問い合わせください。取り付けを専門技術者が行っていない場合、ディスプレイに損傷が発生した場合はお客様の責任となります。
- ・ エッジアラインメントキットを簡単に取り付けるために、付属のつまみねじをご使用ください。
- ・ 4台のディスプレイを隣接させる場合は、「エッジアラインメントキット 1」をご使用ください。



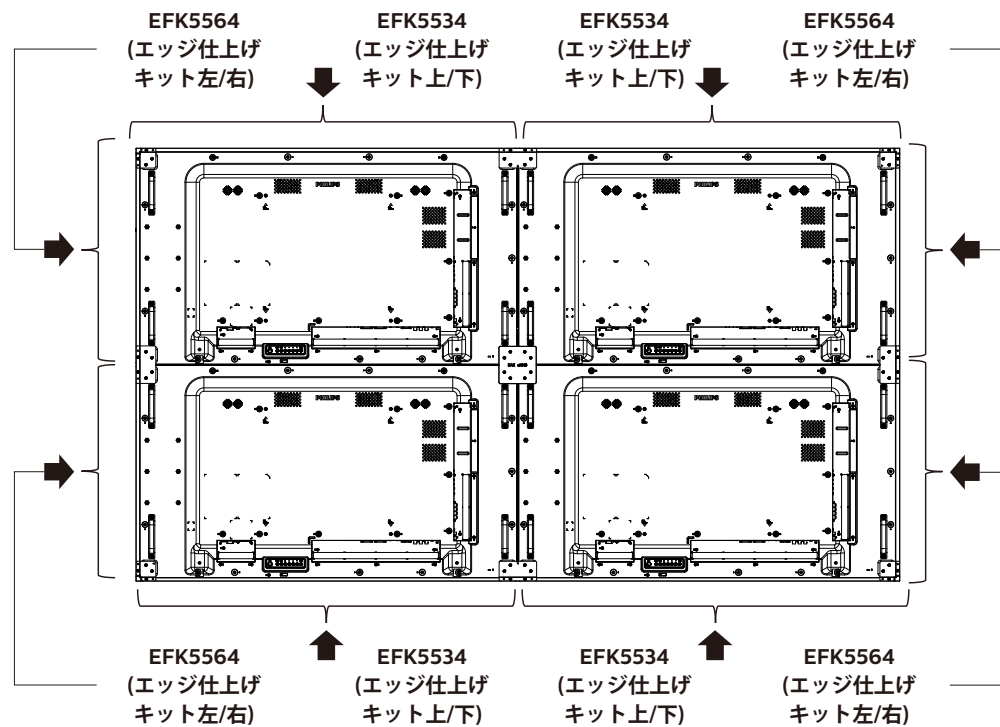
- ・ 2台のディスプレイを隣接させる場合は、「エッジアラインメントキット 2」をご使用ください。



注記：エッジアラインメントキットを取り付ける際は、専門の設置業者にお問い合わせください。専門業者による設置をしなかった場合、当社は設置に対する賠償責任を一切負いません。

1.7 エッジ仕上げキットの使用（オプション）

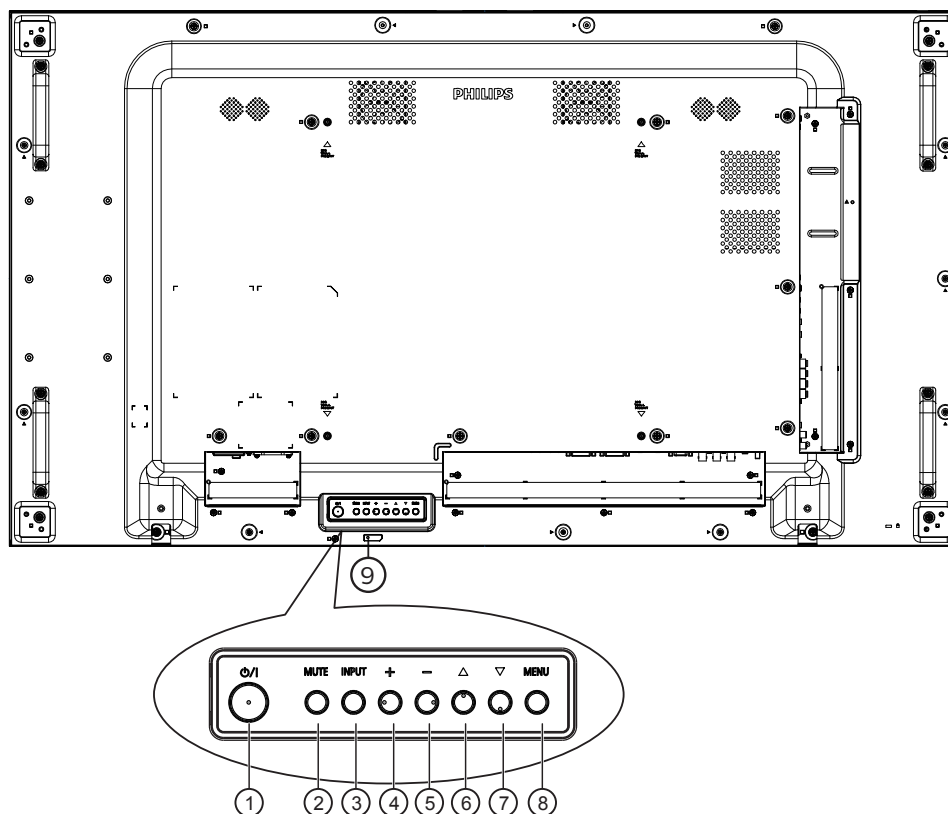
ディスプレイを保護して外観を良くするために、エッジ仕上げキットを使用できます。



* 詳細については、キットのパッケージに付属する取り付けガイドを確認してください。

2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



① [電源] ボタン

このボタンを押して、ディスプレイの電源を入れたり、ディスプレイをスタンバイモードにしたりします。

② [ミュート] ボタン

このボタンを押して、音声をミュートしたり、音声を復元したりします。

③ [入力] ボタン

入力ソースを選択します。

OSD メニューで選択を確認します。

④ [+] ボタン

OSD メニューが ON の時には調整を上げ、OSD メニューが OFF のときには、音声出力レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

OSD メニューが ON のときには調整を下げ、OSD メニューが OFF のときには音声出力レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

OSD メニューがオンのときには選択した項目のレベルを1つ上げます。

⑦ [▼] ボタン

OSD メニューがオンのときには選択した項目のレベルを1つ下げます。

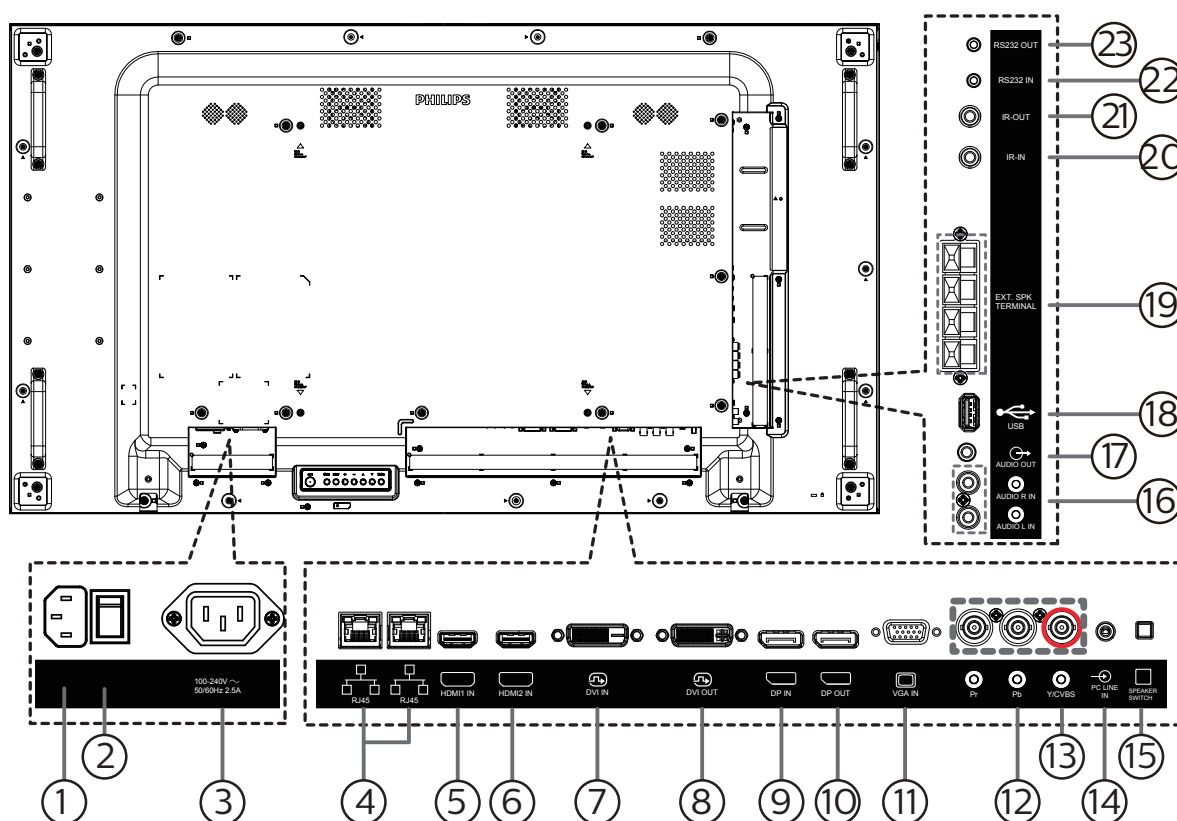
⑧ [メニュー] ボタン

OSD メニューがオンのときには前のメニューに戻ります。また、このボタンは、OSD メニューがオフのときに OSD メニューを有効にするためにも使用します。

⑨ リモコンセンサーと電源状態インジケータ

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ 本ディスプレイの動作状態を表示します：
 - 本製品の電源がオンのとき緑色点灯する
 - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - ディスプレイが APM モードに入ると、琥珀色点灯する
 - {スケジュール} が有効の場合は、緑色と赤色に点滅
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本製品の主電源がオフの場合消灯する

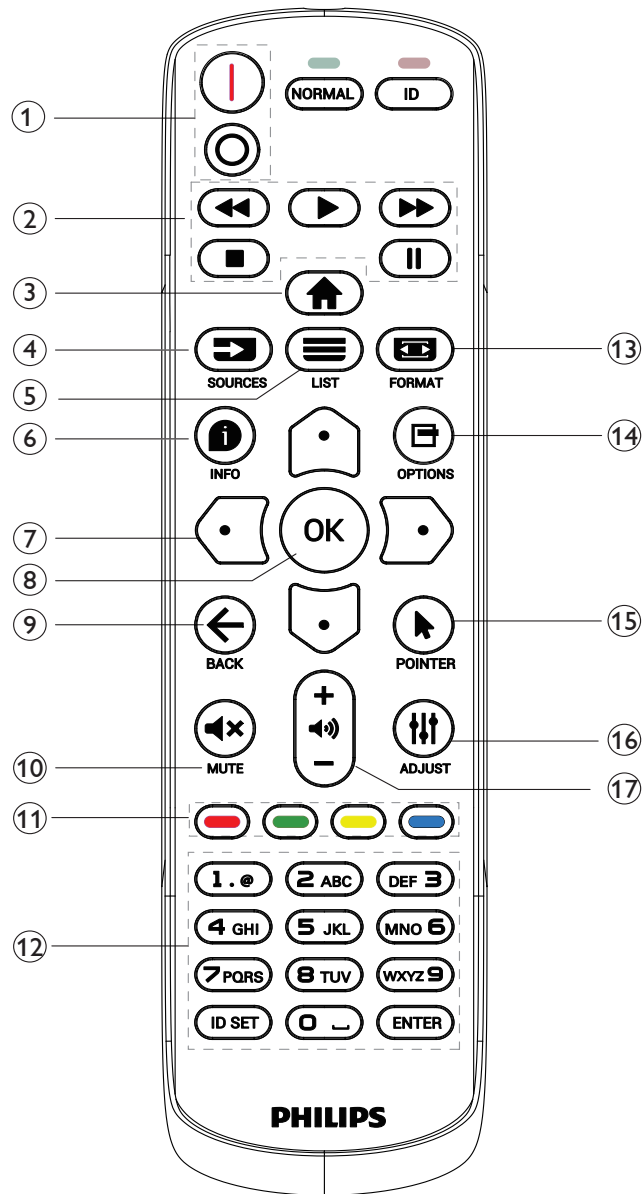
2.2. 入力 / 出力端子



- ① **AC 入力**
壁コンセントからの AC 電源入力。
- ② **主電源スイッチ**
主電源のオン / オフを切り替える。
- ③ **AC 出力**
メディアプレーヤーの AC 入力ジャックに AC 電力を供給します。
- ④ **RJ-45 入力 / 出力**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。
- ⑤ **HDMI1 入力 / ⑥ HDMI2 入力**
HDMI ビデオ / 音声入力。
- ⑦ **DVI 入力**
DVI-D ビデオ入力。
- ⑧ **DVI 出力**
DVI または VGA ビデオ出力。
- ⑨ **DisplayPort 入力 / ⑩ DisplayPort 出力**
DisplayPort ビデオ入力 / 出力。
- ⑪ **VGA 入力 (D-Sub)**
VGA ビデオ入力。
- ⑫ **コンポーネント入力 (BNC)**
コンポーネント YPbPr ビデオソース入力。
- ⑬ **Y/CVBS**
ビデオソース入力。
- ⑭ **PC 線入力**
VGA ソース用の音声入力 (3.5mm ステレオ電話)。
- ⑮ **スピーカースイッチ**
内部スピーカースオン / オフスイッチ。
- ⑯ **音声入力**
内部 AV デバイスからの音声入力 (RCA)。
- ⑰ **音声出力**
外部 AV デバイスへの音声出力。
- ⑱ **USB ポート**
USB ストレージデバイスを接続します。
- ⑲ **スピーカー出力**
外部スピーカーへの音声出力。
- ⑳ **IR 入力 / ㉑ IR 出力**
ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力。
- メモ:
- このディスプレイのリモコンセンサーは、[IR 入力] が接続されている場合、動作を停止します。
 - 本ディスプレイを使ってお持ちの AV デバイスをリモート操作する場合は、ページ 15 に記載されている「IR バススルー接続」を参照してください。
- ㉒ **RS232 入力 / ㉓ RS232 出力**
ループスルー機能向けの RS232 ネットワーク入力 / 出力。

2.3. リモコン

2.3.1. 一般の機能



⑥ [i] 情報ボタン

現在実行しているアクティビティの情報を表示します

⑦ [◀][▶][⏪][⏩] ナビゲーションボタン

メニューを移動して項目を選択します。

⑧ [OK] ボタン

入力または選択を確定します。

⑨ [←] 戻るボタン

以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。

⑩ [M] ミュートボタン

ミュート機能をオン/オフで切り換えます。

⑪ [Red][Green][Yellow][Blue] 色ボタン

タスクやオプションを選択します

⑫ [数字] ボタン

ネットワーク設定にテキストを入力します。ID モードの ID を設定します。

⑬ [Z] 形式ボタン

ズームモードを変更します。

⑭ [O] オプションボタン

現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑮ [P] ポインターボタン

Android 用のマウス機能

⑯ [A] 調整ボタン

現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。

⑰ [−][+] 音量ボタン

音量を調整します。

① [I/O] 電源ボタン

[I] 電源をオンに切り替えます。
[O] 電源をオフに切り替えます。

② [プレー] ボタン

巻き戻し / 再生 / 早送り / 停止 / 一時停止。

③ [Home] ボタン

OSD メニューにアクセスします。

④ [Source] ボタン

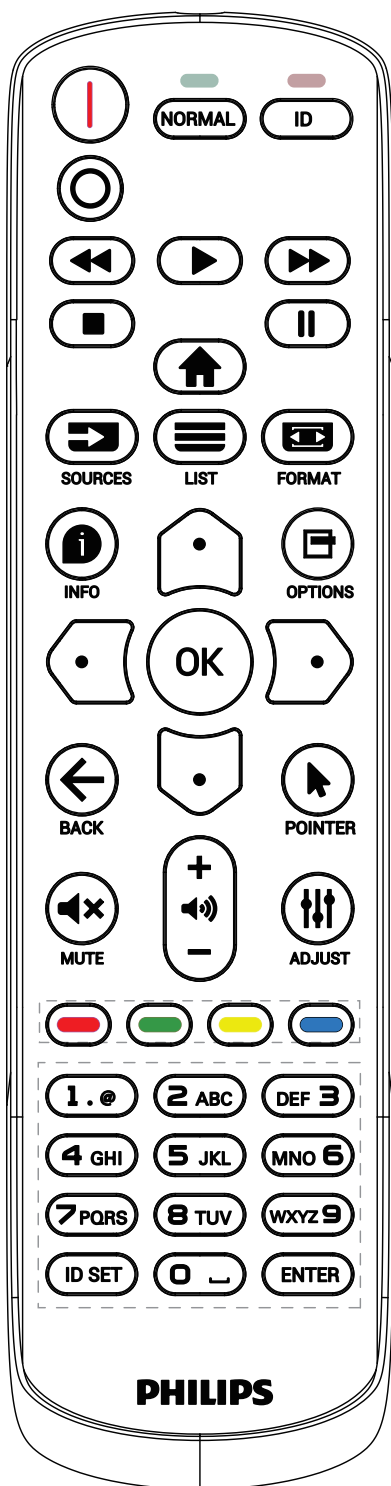
入力ソースを選択します。[Home] または [Back] ボタンを押して **USB、ネットワーク、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、DVI-D、YPbPr、AV** および **VGA** を選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。

⑤ [List] ボタン

予約済み。

2.3.2. リモコン ID

複数台のディスプレイを使用する場合は、リモコンの ID 番号を設定してください。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID SET] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。

[ID 設定] ボタンを再度押すと、ID モードを終了します。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例: ディスプレイ番号 1 では [0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では [1] と [1] を押してください。

使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを離れます。
3. 間違ったボタンを押した場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [ENTER] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記:

- [NORMAL] (ノーマル) ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に各ディスプレイに対する ID 番号を設定する必要があります。
- リモコンの「|||」(一時停止) キーを使用して、画面をフリーズします。リモコンの「▶」(再生) キーを使用して、画面のフリーズを解除します。
- 「フリーズ」機能は、VGA、AV、YPbPr、HDMI、DVI、DP などの「リアル」ビデオソースにのみ適応できます。
- リモコンで操作するか、ビデオモードを変更すると、画面のフリーズが解除されます。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

以下に従い、乾電池を入れて下さい。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 極性 (+) と (-) を正しい位置にして乾電池を挿入してください。
3. カバーを閉じてください。

注意：

乾電池を誤って使用すると、液漏れまたは爆発を引き起こす可能性があります。以下の指示に必ず従ってください：

- 極性 (+) と (-) を正しい位置にして「単 4」乾電池を挿入してください。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 使用済みの乾電池と新しい乾電池を一緒で使用しないでください。混ぜて使用した場合、液漏れが発生したり、乾電池の寿命が短くなったりする可能性があります。
- 切れた乾電池は乾電池収納部で液漏れする可能性があるため、直ちに取出してください。皮膚が負傷する可能性があるため、乾電池から漏れた酸に触れないでください。
- 電池を火や加熱炉に廃棄したり、機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発する恐れがあります。電池を非常に高温になる環境に放置すると、爆発や可燃性の液体またはガスの漏れが発生する可能性があります。また、電池を非常に低い空気圧にさらすと、爆発または可燃性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。

注記：長期間にわたって使用しない場合は、乾電池収納部から乾電池を取り外してください。

2.3.4. リモコンの取り扱い

- リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- リモコンの内部に液体が入らないようにしてください。リモコンに水が入った場合は、乾いた布で直ちに拭いてください。
- 熱や蒸気を発生するものの近くに、リモコンを置かないでください。
- リモコンの乾電池を交換する以外の理由で、リモコンを分解しようとししないでください。

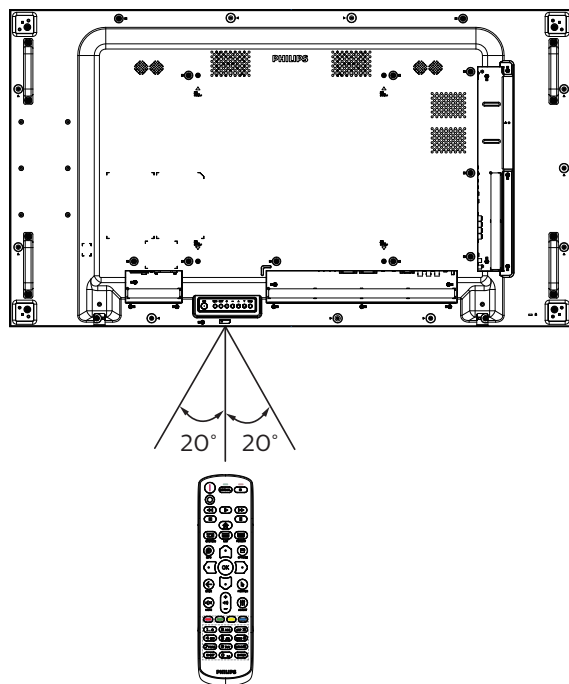
2.3.5. リモコンの動作範囲

ディスプレイのリモコンセンサーにリモコンを向けてください。

ディスプレイのリモコンセンサーから 5 m 左右 20 度の範囲内でリモコンを使用してください。

注記：

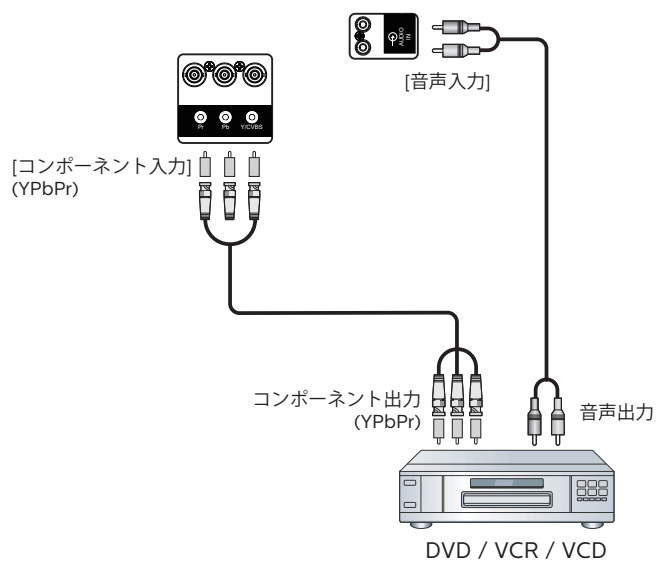
- ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明を浴びていたり、障害物が信号伝達を妨害していたりすると、リモコンが適切に作動しないことがあります。
- リモコンの機能を向上させるため、IR センサーケーブルを使用してください。（詳細については 3.5. IR 接続を参照してください）



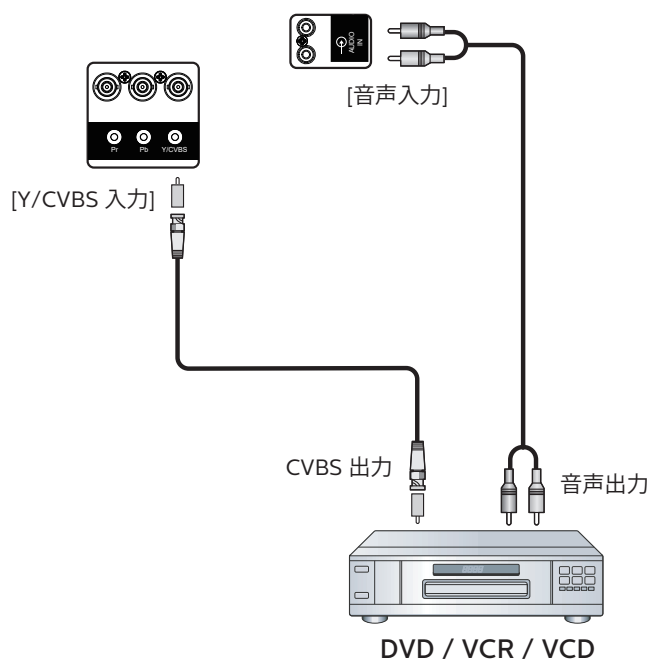
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

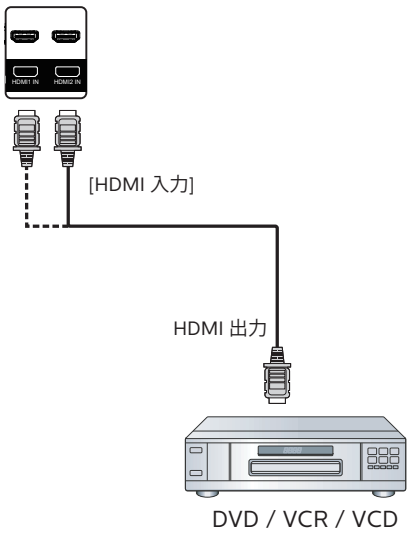
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用



3.1.2. ビデオソース入力の使用

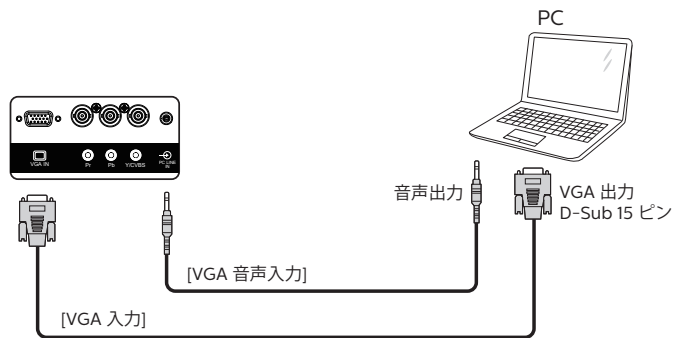


3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用

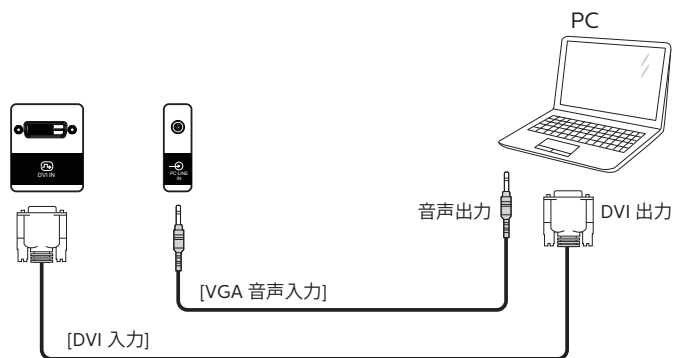


3.2. PC の接続

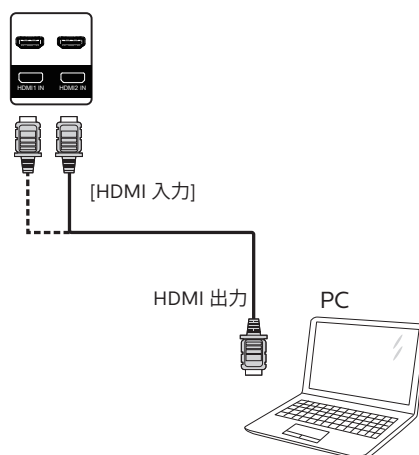
3.2.1. VGA 入力の使用



3.2.2. DVI 入力の使用



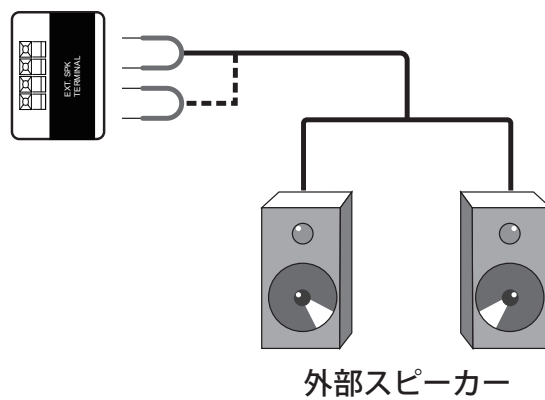
3.2.3. HDMI 入力の使用



3.2.4. DisplayPort 入力の使用

3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続

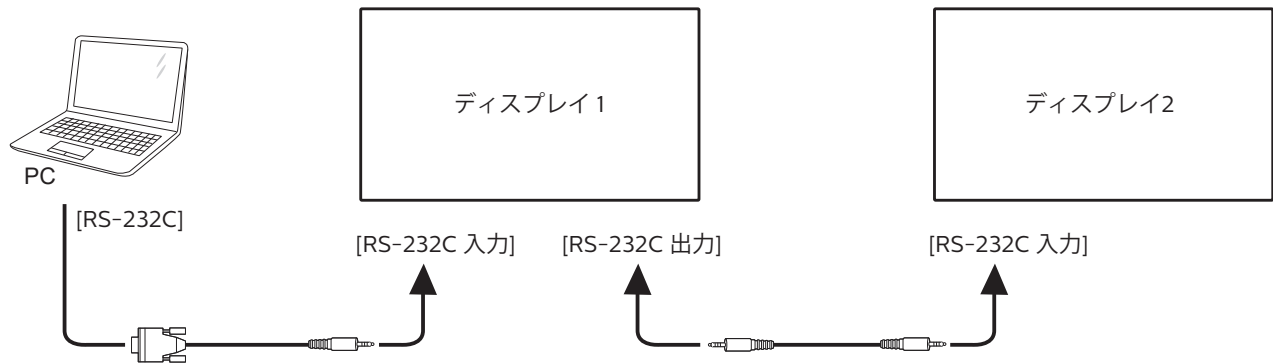


3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

複数のディスプレイを相互接続し、メニューボードなどの用途向けに、デイジーチェーン構成にすることができます。

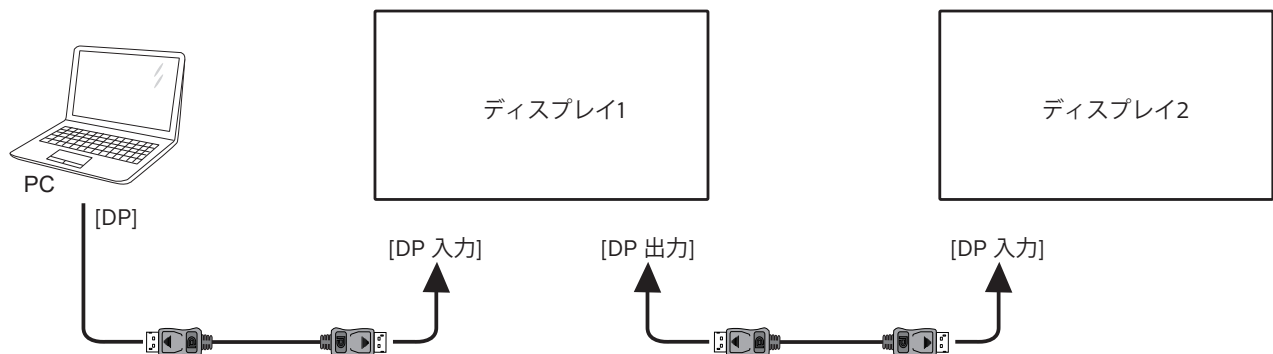
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ1の[RS232C 出力]コネクタをディスプレイ2の[RS232C 入力]コネクタに接続します。

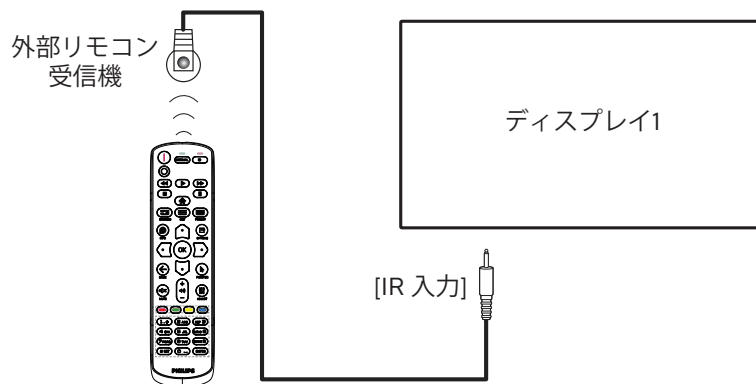


3.4.2. デジタルビデオ接続

ディスプレイ1の[DP 出力]コネクタをディスプレイ2の[DP 入力]コネクタに接続します。



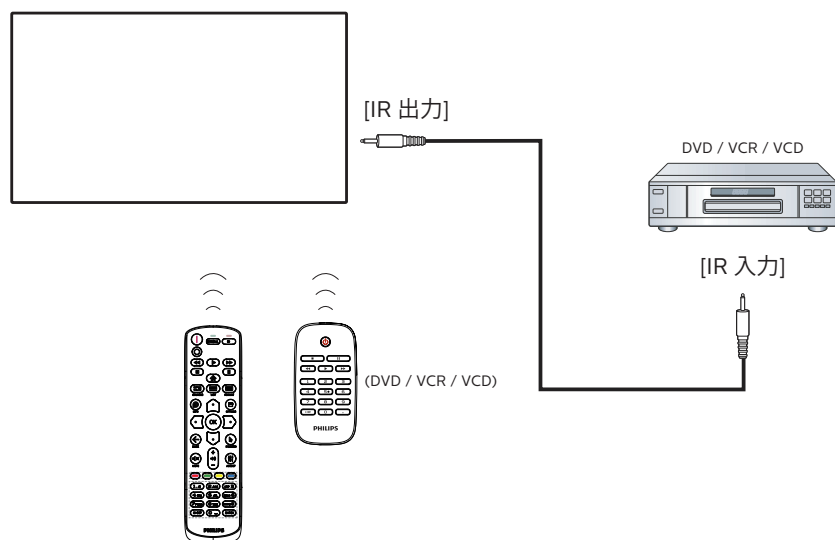
3.5. IR 接続



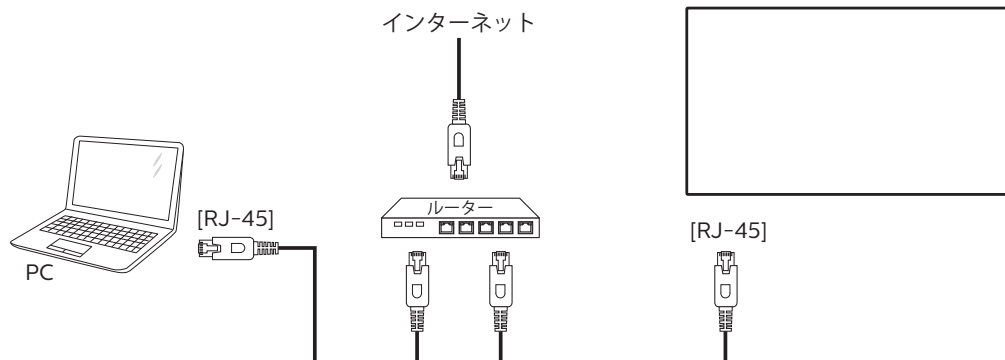
注記:

このディスプレイのリモコンセンサーは、[IR 入力] が接続されている場合、動作を停止します。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続



ネットワーク設定:




1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
 2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本ディスプレイに接続します。
 3. リモコンの [▲] ホーム ボタンを押した後に、**セットアップ** を選択します。
 4. **ネットワークに接続する** を選択して、[OK] ボタンを押します。
 5. 本ディスプレイがネットワーク接続を検出するまで待ちます。
 6. [エンドユーザーライセンス同意書] ウィンドウが表示されたら、同意書を受け入れてください。
- 注記: EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注記:この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する




外部機器の接続に関しては、ページ 11 を参照してください。

1. [] ソースボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押してデバイスを選択し、[**OK**] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります：

1. [] 形式 ボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押して画像フォーマットを選択。[**OK**] ボタンを押します。
 - ・ { **オートズーム** } : 画面いっぱいに拡大します。画面の歪を最小限にするために、[**オートズーム**] を選択してください。このオプションは、HD ディスプレイおよび PC にはご利用できません。
 - ・ { **ムービー拡張 16:9** } : 4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD または PC にはご利用できません。
 - ・ { **ワイド画面** } : ワイドスクリーン形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD または PC にはご利用できません。
 - ・ { **未スケール** } : PC 画像の細部が最大限に表示されます。このオプションは、{ **画像** } メニューで PC モードを選択したときのみ使用できます。
 - ・ { **4:3** } : 従来の 4:3 形式で表示します。
 - ・ { **Custom zoom** } (**カスタムズーム**) : 画像とエッジのサブメニューから選択したカスタマイズされたズーム設定を適用します。

4.3. ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディアファイルを再生する

ローカルエリアネットワークを経由してファイルを再生するには、以下が必要です。

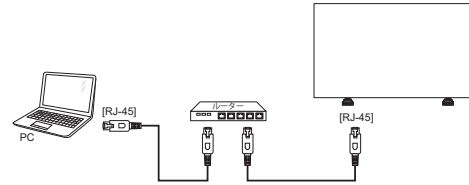
- ・ ホームネットワーク接続。ユニバーサルプラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- ・ オプション : 本製品をホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- ・ コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- ・ メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワーク設定

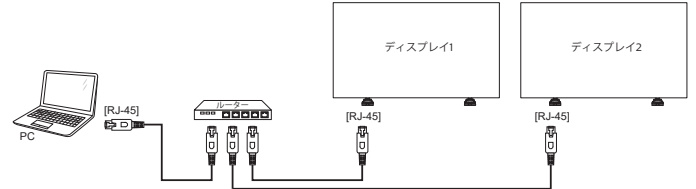
1. 本製品とコンピュータを同じホームネットワークに接続します。以下の接続図をご参照ください。

2. PC とルーターに電源を入れます。

- ・ **単一ディスプレイの設定**



- ・ **複数ディスプレイでの設定**



注記:外部からの電氣的妨害(例:静電放電)により本製品が DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です。
 - ・ PC の場合 : Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersity
 - ・ Mac の場合 : Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳しい設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。

4.3.2. DLNA-DMP の使い方

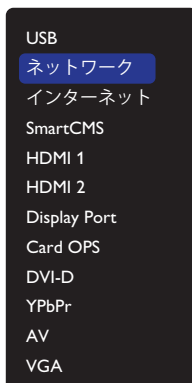
ネットワークに接続していることを確認します。

1. ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		26/09/2014 金曜日 09:32:00
画像フォーマット	ワイド画面	
画像スタイル	標準	
音声スタイル	個人	
スマートパワー	オフ	
音量	0	
モニターグループ	1	
モニター ID	1	
モード名	xxxxxxxx	
SW バージョン	1.51	
シリアル番号		
温度	25°C	
ネットワーク設定	DHCP および自動 IP	
IP アドレス	192.168.1.116	
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.1.1	
ネットワーク名	xxxxxxxx	
MAC アドレスを入力する	FF:FF:FF:FF:FF:FF	

画面上でファイルを再生する

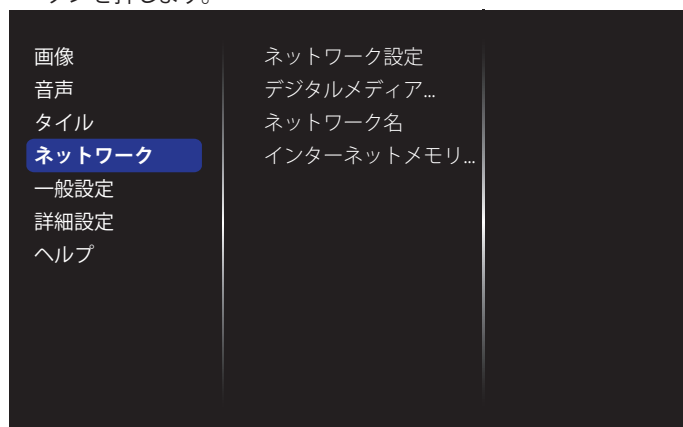
1. [] [ソース] ボタンを押して、[ネットワーク] を選択し [OK] ボタンを押します。



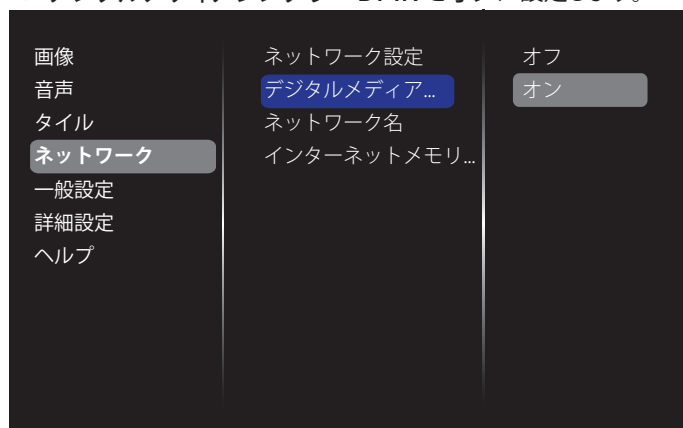
2. 同じルーターにすべての PC が接続されたので、正しい PC を選択してください。
3. [] と [] を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディアストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

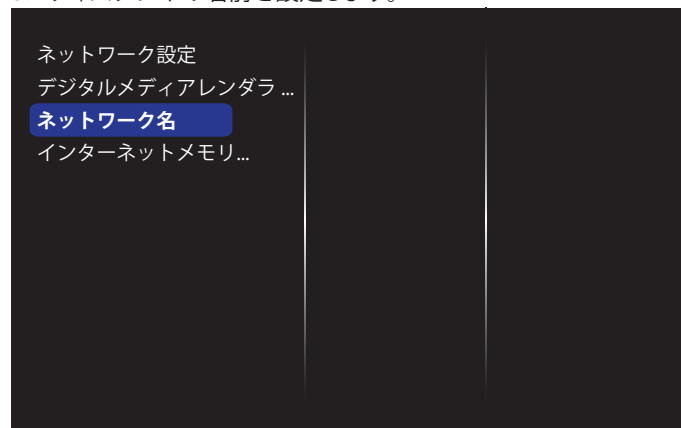
1. [] ホームボタンを押して、ネットワークを選択し [OK] ボタンを押します。



2. デジタルメディアレンダラ - DMR をオンに設定します。



3. ディスプレイの名前を設定します。



4. [] ホームボタンを押して、[] ソースボタンを押します。次に、ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
5. PC 上で **Network and Sharing Center (ネットワークと共有センター)** を開いて **Choose homegroup and sharing options (ホームグループと共有に関するオプションの選択)** をクリックします。
6. メディア形式を確認します。**Choose media streaming options.... (メディアストリーム オプションを選択します ...)** をクリックします。
7. **Advanced sharing settings (共有の詳細設定)** を開き、**Turn on network discovery (ネットワーク探索を有効にする)** を選択します。
8. メディアファイルのディレクトリに移動し、右クリックして、メディアファイルを選択します。**リモート再生**のサブメニューに、ネットワークに接続されているすべてのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルを選択します。

ファイルを再生する

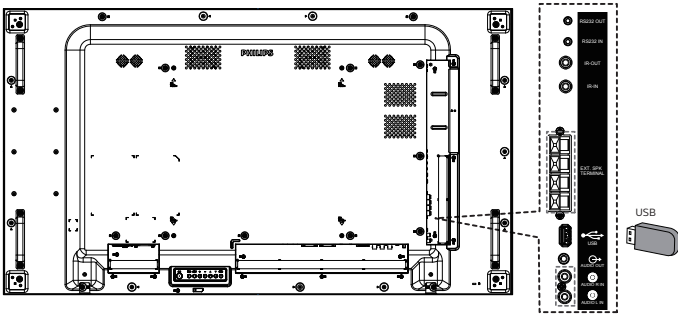
1. [] ソースボタンを押します。
2. ネットワークを選択して [OK] ボタンを押します。
3. コンテンツブラウザからファイルを選択し、[OK] ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある [再生] ボタンを押します。



ヒント:

- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トッパーを選択します。
- **Sort** を選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、[] オプションボタンを押します。その後、**Clear offline servers (接続されていないサーバーを消去します)** を選択して [OK] ボタンを押します。














4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [] ソース ボタンを押して、**USB** を選択し [] ボタンを押します。









3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能なすべてのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。  **音楽**、  **ムービー**、そして  **写真** です。
4. 画面の最上層に戻るには、[] 戻る ボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [] または [] ボタンを押します。再生リストを表示するには [] ボタンを押します。
5. 目的のファイルを選択します。再生するには [] ボタンを押します。
6. 画面上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. [] **再生** ボタン (   ) を押して再生を操作します。






4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生



1. トップバーの  **音楽** を選択します。





2. 曲を一曲選択して [] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての曲を再生するには、音楽ファイルをひとつ選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 次の曲や前の曲をスキップするには、[] または [] ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには [] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [] ボタンを押します。

- 前後に 10 秒間スキップするには [] または [] ボタンを押します。
- 順方向や逆方向に検索するには、[] または [] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
- 音楽を停止するには [] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [] ボタンを押してオプションを選択します。










- { **Shuffle (シャッフル)** }: 曲はランダムに再生されます。
- { **Repeat (リピート)** }: 曲またはアルバムを繰り返して再生するには { **Repeat (リピート)** } を選択し、一回のみ再生するには { **Play once (一度再生)** } を選択します。

注記: 曲の情報 (例: 曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して [] 情報ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう一度 [] 情報ボタンを押します。



4.5.2. ムービーファイルの再生

1. トップバーの  **ムービー** を選択します。



2. 動画を選択して [] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 動画を一時停止するには [] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [] ボタンを押します。
 - 前後に 10 秒間スキップするには [] または [] ボタンを押します。
 - 順方向や逆方向に検索するには、[] または [] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
 - 動画を停止するには [] ボタンを押します。

ムービーオプション

動画の再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [] ボタンを押してオプションを選択します。

- { **字幕** }: 使用可能な字幕設定を選択します。
- { **Subtitle language (字幕言語)** }: 可能な場合、字幕の言語を選択します。
- { **Shuffle (シャッフル)** }: ビデオはランダムに再生されます。
- { **Repeat (リピート)** }: 動画ファイルを繰り返し再生するには { **Repeat (リピート)** } を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには { **Play once (一度再生)** } を選択します。
- { **ステータス** }: 動画の情報 (例: 再生位置、長さ、タイトル、日付) を表示するには。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの  写真を選択します。



2. サムネイル表示された写真を選んで [OK] ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。

- ・ 前後の写真をスキップするには [] または [] ボタンを押してから [OK] ボタンを押します。
- ・ スライドショーを停止するには [] ボタンを押します。

スライドショー オプション

スライドショーの再生中に [] オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- ・ **{Shuffle (シャッフル)}**: 画像はランダムに再生されます。
- ・ **{Repeat (リピート)}**: スライドショーを繰り返し鑑賞するには **{Repeat (リピート)}** を選択し、一回だけ鑑賞するには **{Play once (一度再生)}** を選択します。
- ・ **{Slideshow Time (スライドショー時間)}**: スライドショーで表示する写真の表示時間を選びます。
- ・ **{Slideshow Transitions (スライドショートランジション)}**: 次の写真に変わるときの切り替わり方を選びます。

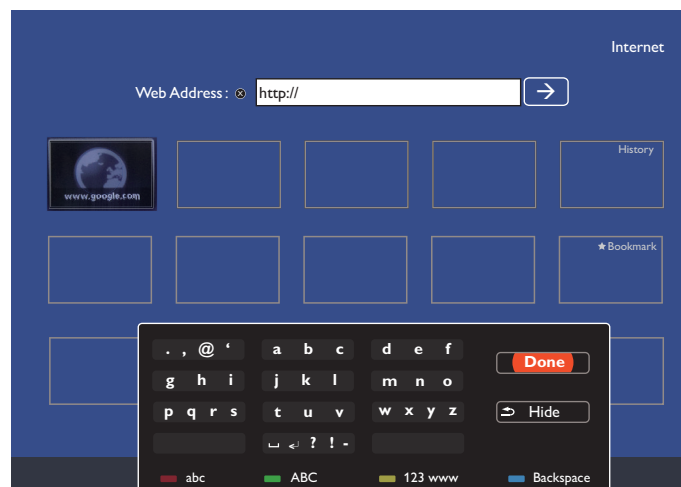
4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

LAN ラインを確認して、ネットワークに接続されているか確認します。

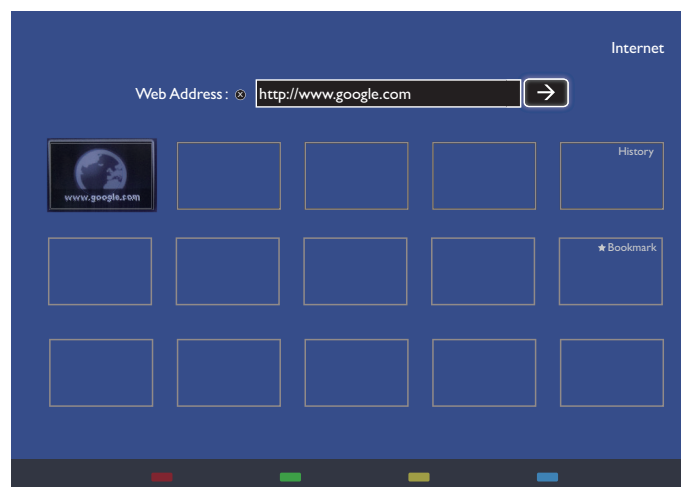
1. [] ソースボタンを押して、**インターネット**を選択し [OK] ボタンを押します。



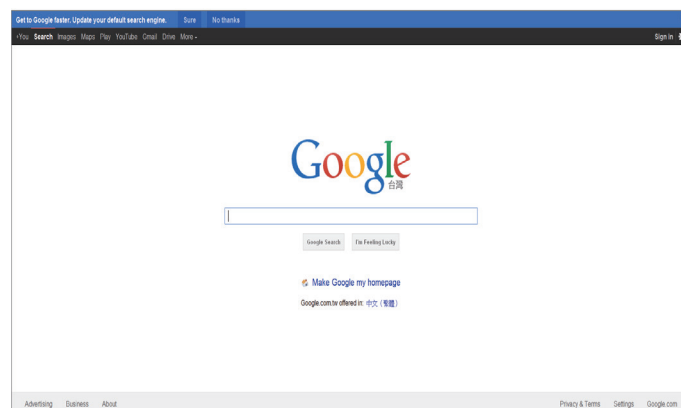
2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[OK] ボタンを押すと、オンスクリーン キーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら **完了** を選びます。



3. カーソルを「>」アイコンに移動して [OK] ボタンを押します。



4. 以下のように Web ページが表示されます :

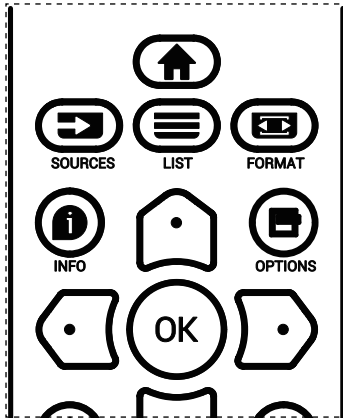


メモ:

- ・ Opera ブラウザは FLASH 形式に対応していません。
- ・ ブラウザはビデオソースではありません。本ディスプレイを再起動した後、ブラウザ画面には戻りません。

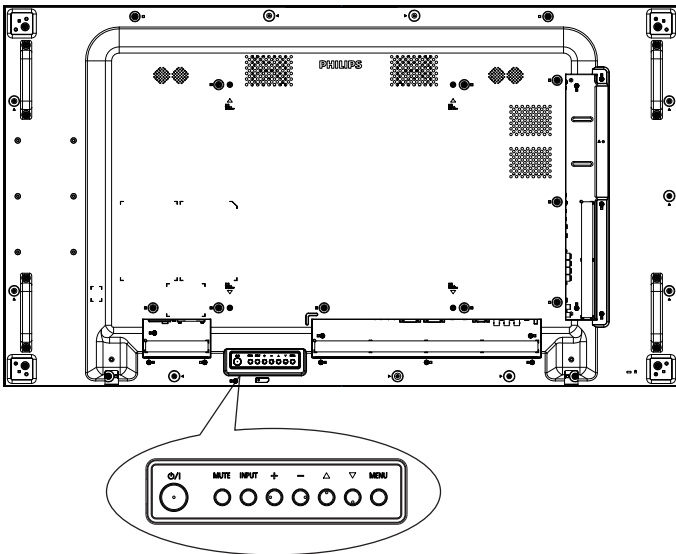
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. リモコン上の [🏠] ボタンを押して、OSD メニューを表示します。
2. [⏪] または [⏩] ボタンを押して、調整する項目を選択します。
3. [OK] または [D] ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[⏪] ボタンまたは [⏩] ボタンまたは項目を切り換えて、[D] ボタンまたは [D] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[OK] または [D] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [⏪] ボタンを押して直前のメニューに戻るか、または [🏠] ボタンを押して OSD メニューを離れます。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する

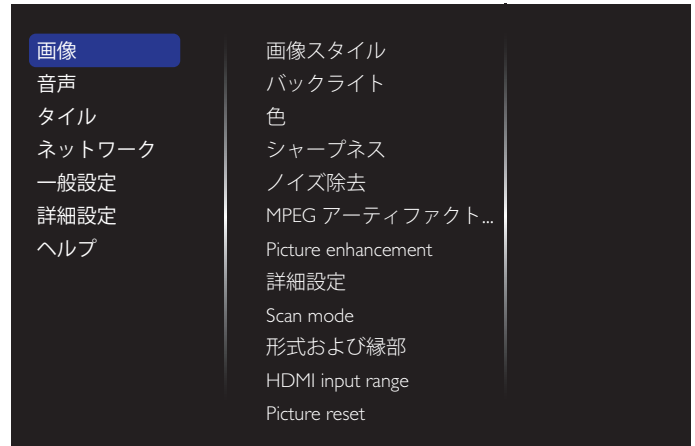


1. OSD メニューを表示するには [MENU] ボタンを押します。
2. [▲]、[▼]、[+] または [-] ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。
3. [INPUT] ボタンを押して、選択したメニューを確認し、サブメニューに入ります。
4. OSD メニューを終了するには [MENU] ボタンを押します。

5.1. 設定

[🏠] ホームボタンを押します。

5.1.1. 画像



画像スタイル

お好みの画像設定を選びます。

バックライト

本ディスプレイのバックライトの明るさを調整します。

色

画像の彩度を調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ノイズ除去

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG アーティファクト低減

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

Picture enhancement (画像エンハンスメント)

周囲の画素に馴染むようにすべての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- { 高度なシャープネス }: 優れた画像シャープネスで、特に画像の線や輪郭に有効です。
- { ダイナミックコントラスト }: 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- { 色強調 }: 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色合い、映像のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- { ガンマ }: 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調整します。
- { 色合い }: カラーバランスを変更します。
- { カスタム色合い }: カラーバランスの設定をカスタマイズします。{ 色合い }、→ { カスタム } が選択されている場合のみ使用できます。
- { 映像のコントラスト }: 映像のコントラストを調整します。
- { 明るさ }: 画面の明るさを調整します。
- { 色相 }: 画面の色相を調整します。

Scan mode (スキャンモード)

本製品の画像領域を変更します。

形式および縁部

- ・ { 画像フォーマット }: 画像フォーマットを変更します。
- ・ { Zoom (ズーム) }: 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
- ・ { H zoom (水平ズーム) }: 画像の水平サイズのみを拡大します。
- ・ { V zoom (垂直ズーム) }: 画像の垂直サイズのみを拡大します。

注記:ズーム、水平ズーム、垂直ズームは画像フォーマット設定がカスタムズームに設定されているときのみ利用できます。

画像フォーマットに関する記述は 16 ページを参照してください。

HDMI input range (HDMI 入力レンジ)

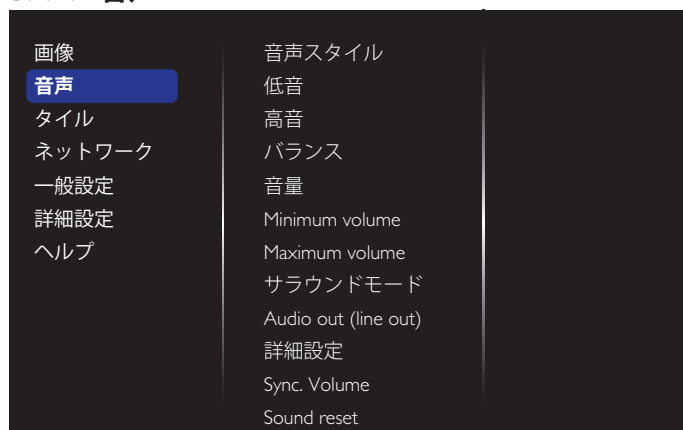
HDMI ビデオ形式の色範囲

- ・ { オート }: HDMI ビデオ形式の自動色範囲。
- ・ { Limit (リミット) }: HDMI ビデオ形式の制限された色範囲。
- ・ { フル }: HDMI ビデオ形式の全範囲。

Picture reset (映像リセット)

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. 音声



音声スタイル

お好みの音声設定にアクセスします。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

音量の増減を調整します。

Minimum volume (最小音量)

最小音量を設定します。

Maximum volume (最大音量)

最大音量を設定します。

サラウンドモード

オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

Audio out (line out) (音声出力 (ライン出力))

音声出力の音量を調整します。

詳細設定

詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- ・ { 自動音量平準化 }: 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- ・ { スピーカ設定 }: 内部スピーカークの電源をオンまたはオフにします。
- ・ { クリアな音声 }: 音質を向上させます。
- ・ { 音声出力形式 }: デジタル音声出力コネクタを通して、音声出力タイプを選びます。(HDMI のみ)
- ・ { 音声出力遅延 }: ディスプレイに表示されている画像を、接続したホームシアターからの音声と自動的に同期させます。
- ・ { 音声出力オフセット }: 音声出力の遅延に関する設定を調整します。{ 音声出力遅延 } が有効になっている場合に使用できます。

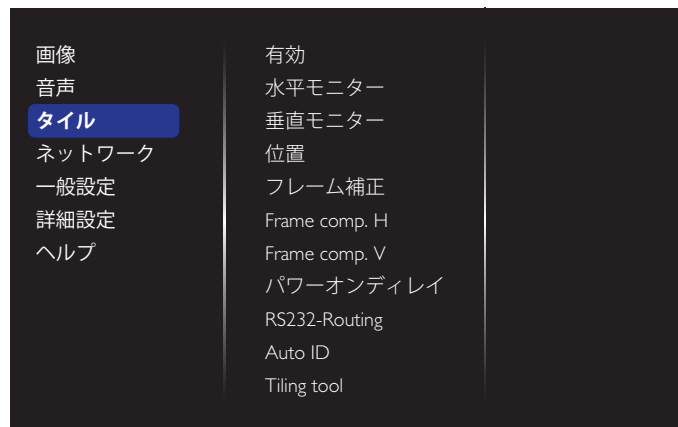
Sync. Volume (同期音量)

音量の同期機能を有効または無効にします。{ オン } に設定すると、内部スピーカークとライン出力の音量が同期されます。{ オフ } に設定すると、内部スピーカークとライン出力の音量がそれぞれ調整されます。

Sound reset (音声リセット)

デフォルト設定にリセットします。

5.1.3. タイル



最大 100 台のディスプレイ (縦に最大 10 台、横に最大 10 台) からなる 1 つの大型画面マトリクス (ビデオウォール) を作成します。

有効

タイル機能を有効または無効にします。{ オン } の場合、本ディスプレイは { 水平モニター }、{ 垂直モニター }、{ 位置 }、および { フレーム補正 } の設定を適用します。

水平モニター

横列のディスプレイを調整します。

垂直モニター

縦列のディスプレイを調整します。

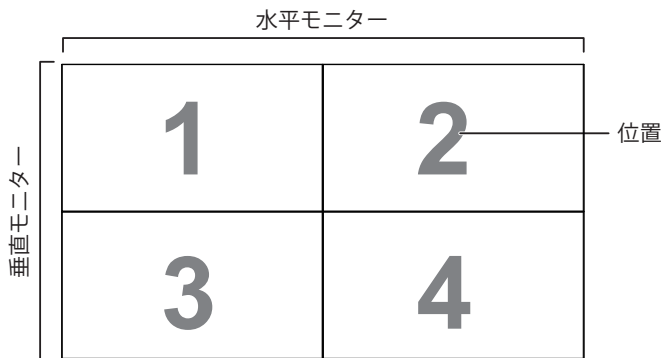
位置

画面マトリクス (配列) でディスプレイの位置を選択します。

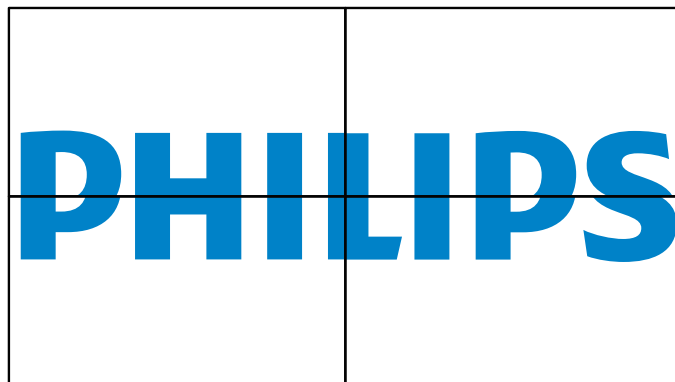
例: 2 x 2 の画面マトリックス (ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台

垂直モニター = ディスプレイ 2 台



{ オフ }



例: 5 x 5 の画面マトリックス (ディスプレイ 25 台)

水平モニター = ディスプレイ 5 台

垂直モニター = ディスプレイ 5 台



Frame comp.H (水平フレーム補正)

水平フレーム補正幅を調整します。

Frame comp.V (垂直フレーム補正)

垂直フレーム補正幅を調整します。

パワーオンディレイ

複数のディスプレイを接続しているとき、電源負荷を低減するために、各ディスプレイの電源オン遅延時間 (秒単位) を調整します。

RS232-Routing (RS232 ルーティング)

制御ポートを選択します。

- {RS232}: RS232 制御を選択します。
- {LAN (RJ-45)}: LAN 制御を選択します。
- {IR}

RS232C 接続によって複数のディスプレイが接続されている場合、リモート制御の操作モードを選択します。

- {IR Control (リモコンモード)}

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- {ノーマル}

すべてのディスプレイを、リモコンで正常に動作させることができます。

- {Primary (プライマリ)}

このディスプレイを、リモコン操作用の 1 次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。

- {Secondary (セカンダリ)}

このディスプレイを 2 次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンでは操作できず、RS232C 接続を通して 1 次ディスプレイからの制御信号のみを受信します。

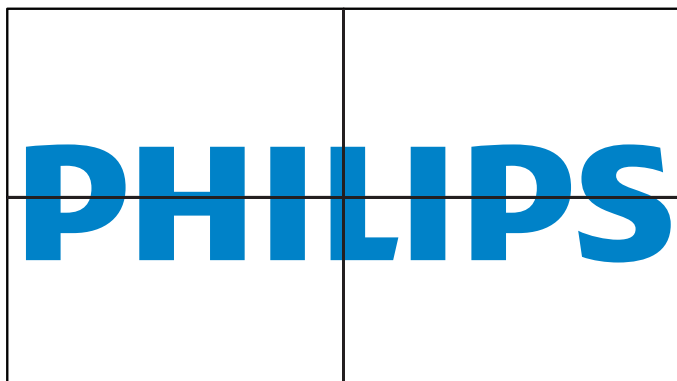
- {Control Monitor-ID (操作するモニター ID)}

RS232C 接続経由で本ディスプレイを操作するためにリモコンモードの ID 番号を選択します。

フレーム補正

フレーム補正機能を有効または無効にします。{ オン } を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

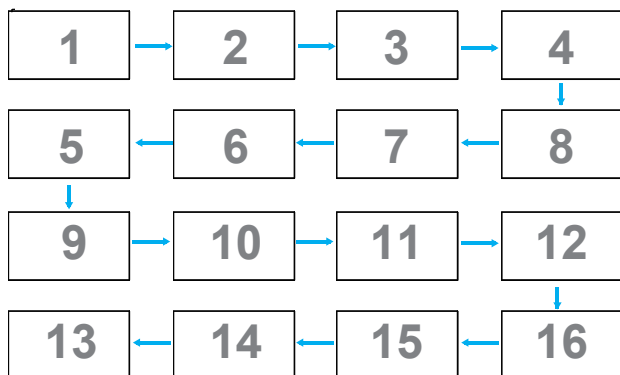
{ オン }



Auto ID (自動 ID)

{ 水平モニター } 設定に従って、接続されたデバイスの { モニター ID } を設定します。

例: 水平モニターを 4 に設定



注記: この機能を使用するには、すべてのマシンを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、そのネットワーク制御ポートを RS-232 に設定します。

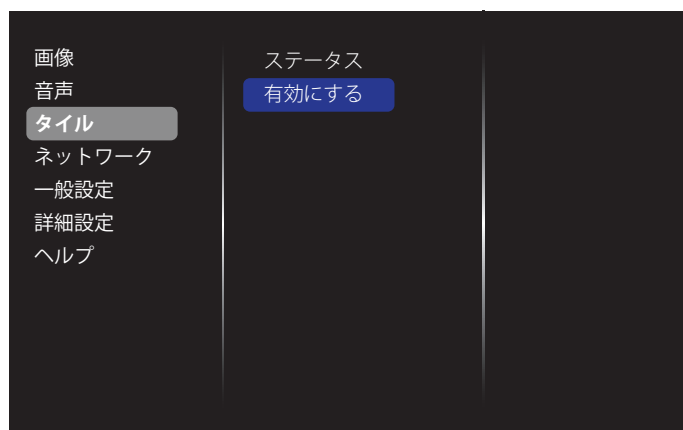
注記: この機能を DP 1.2 接続に使用する場合、対応する最大解像度は 1920x1080@60Hz 4 セットです。4Kx2K/30Hz の場合、2 セット接続にのみ対応します。

Tiling tool (タイルツール)

販売店から購入したシリアル番号を入力して、タイルツール機能を有効にします



(1). 有効化メニューに入ります

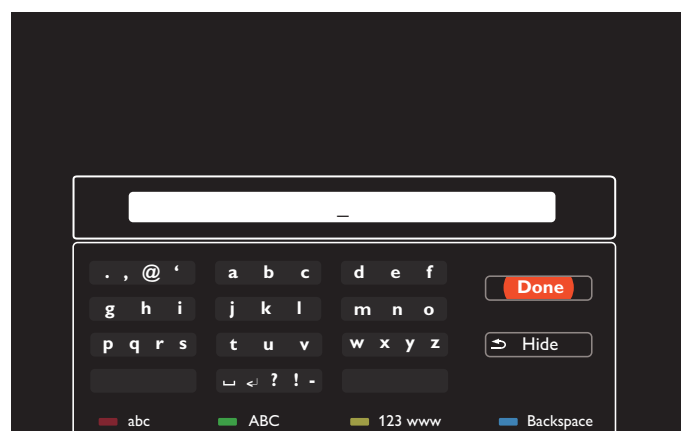


(2). 有効化キーを OSD に入力します



(3). [OK] ボタンを押して、オンスクリーン キーパッドを表示して、有効化キーを入力します。完了したら、[完了] を選択します。

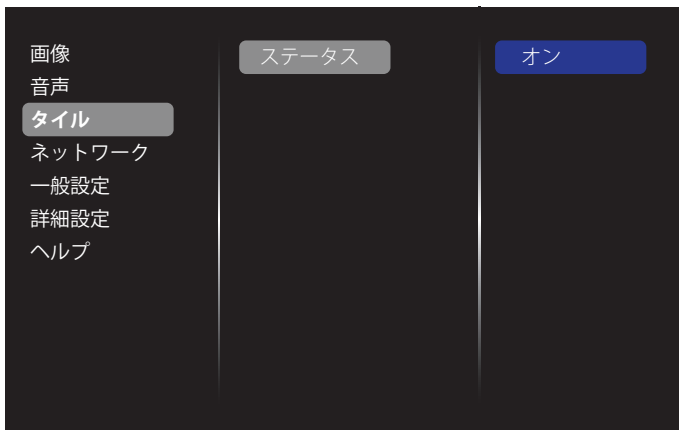
注記: リモコンの黄色キーを押して、テンキーに切り替えます。



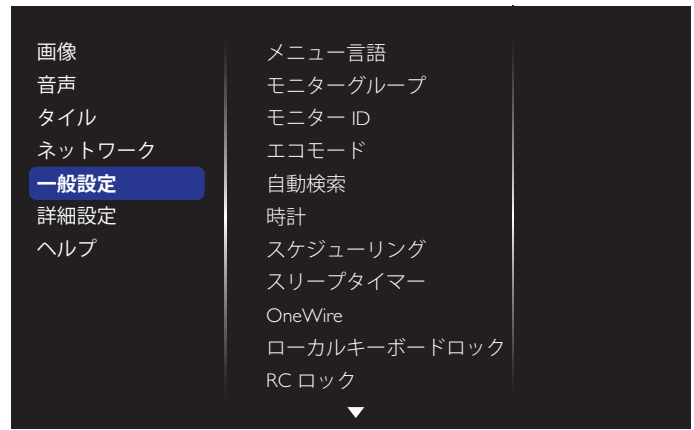
(4). Tiling tool 有効化プロンプトが表示されます。



(5). タイルツールのステータスを確認します



5.1.5. 一般設定



メニュー言語

OSD メニュー言語を設定します。

モニターグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調整します。デフォルト設定は 255 です。

モニター ID

RS232C 接続経由で本ディスプレイを操作するために ID 番号を調整します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニター ID 番号の範囲は 1～255 です。デフォルト設定は 1 です。

エコモード

この設定により、ディスプレイの消費電力を自動的に低減できます。
注記: エコモードが「ノーマル」に設定されている場合、[オールリセット]メニューから「低電力スタンバイ」のデフォルト設定にリセットできません。ただし、エコモードを「低電力スタンバイ」に手動で設定することはできません。

自動検索

本ディスプレイが利用可能な信号ソースを自動で検出できるように、この機能を有効にします。

時計

本製品の内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

メモ:

サマータイム設定の定義と動作:

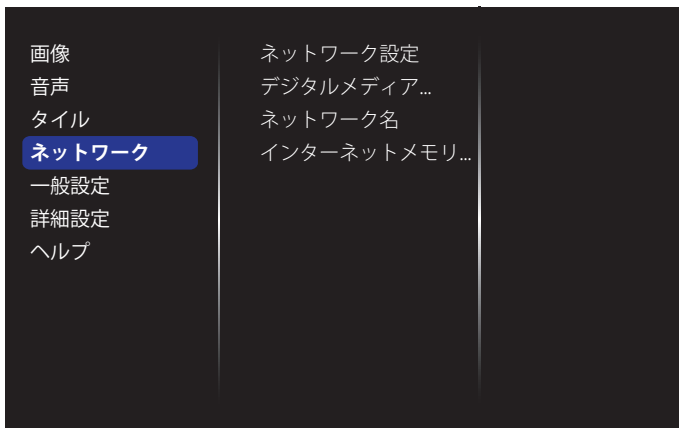
現在のサマータイム設定は、時計でサマータイムのオン / オフを調整する方法を知らないユーザー向けのリマインダーツールとして動作します。これは、実際の時計を自動的に調整しません。問題は、地域または国で定義された時計を調整するときの標準ルールがないことです。この問題を解消するため、サマータイムの開始日と終了日をユーザーが設定する必要があります。サマータイム補正がオンになっている場合 (ユーザーが選択可能)、実際の時計はサマータイムをオンおよびオフする日付として設定されている時刻に調整する必要があります。サマータイム設定の開始日の 2 時に時計を 1 時間進めてください。サマータイム設定の終了日の 2 時に時計を 1 時間遅らせてください。

既存のサマータイムオン / オフメニュー項目が以下のメニュー構造に置き換えられます:

メニュー項目 { 夏時間 } に、以下の項目が含まれたサブメニューが開きます:

- メニュー項目 { Daylight saving start date (サマータイム開始日) } 選択項目 { 1st, 2nd, 3rd, 4th, Last (最後) } 選択項目の日曜日 { 1-12 month (1-12 月) }

5.1.4. ネットワーク



ネットワーク設定

- { ネットワーク設定 }: 本ディスプレイのネットワークリソースへのアドレスの割り当て方を選択します。利用可能なオプションは、{ DHCP および自動 IP } (推奨) と { スタティック IP } です。
- { ネットワークタイプ }: 有線 (デフォルト) を選択してネットワークタイプを設定します。

デジタルメディアレンダラ - DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディアファイルを受信します。

ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

名前を入力するには、画面上のキーパッドまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

インターネットメモリをクリアする

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

- メニュー項目 {Daylight saving stop date (サマータイム終了日)} 選択項目 {1st、2nd、3rd、4th、Last (最後)} 選択項目の日曜日 {1-12 month (1-12 月)}
- メニュー項目 {Correction time (補正時間)} 選択項目 {0.5、1.0、1.5、2.0} 時間
- メニュー項目 {夏時間} 選択項目 {オン、オフ}

「夏時間」が「オン」の場合、サマータイム設定 (2015 年 4 月 5 日の 2 時に時刻が 1 時間遅く設定される、または、2015 年 10 月 25 日の 2 時に時刻が 1 時間早く設定されるなど) で、実際の時計が自動的に調整されるはずですが、

スケジューリング

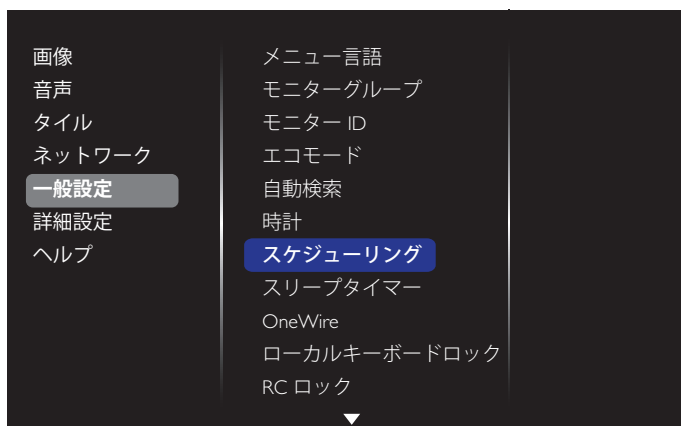
この機能を使うと、最大 7 つの異なるスケジュール間隔で本ディスプレイを作動させることができます。

以下の設定が可能です。

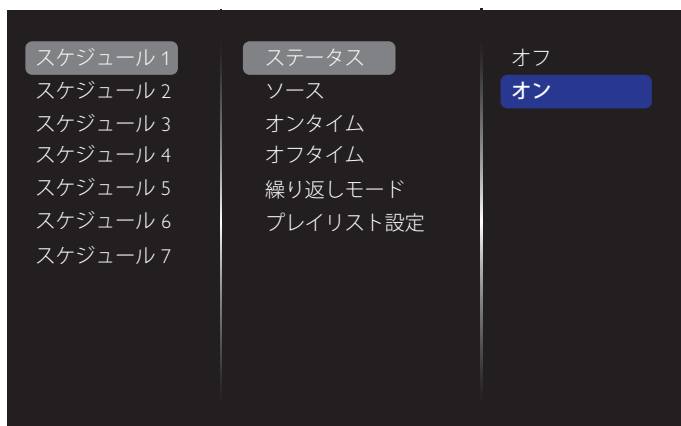
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。

メモ:

- この機能を使用する前に、{時計}メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- {一般設定}メニューにある {時計} オプションを変更した後、この {スケジューリング} をもう一度設定する必要があります。

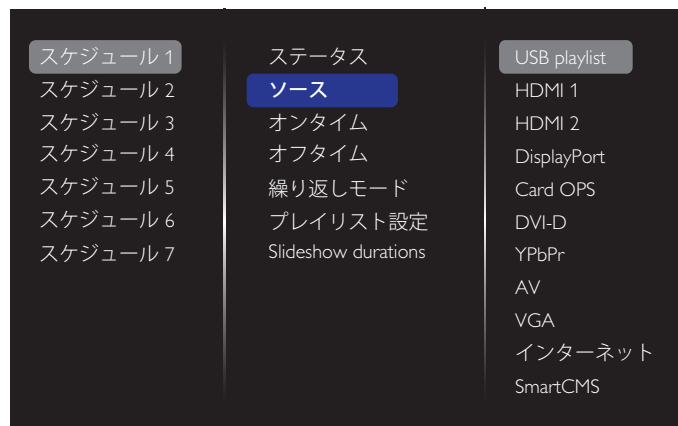


- 最大 7 つのスケジュールを設定できます。**ステータス**で**オン**を選択します。

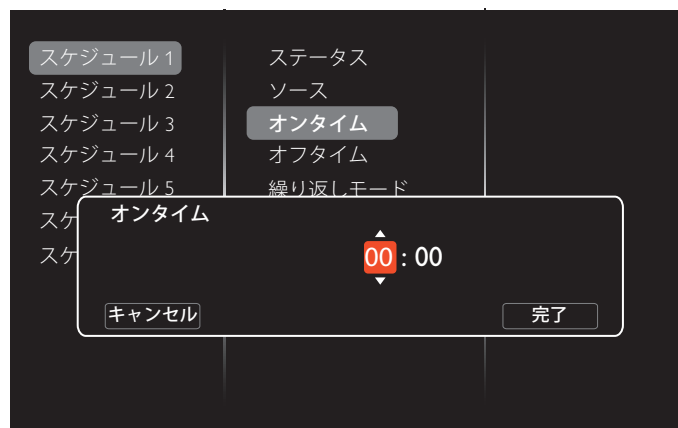


- ソース**で入力ソースを選びます。{ソース} → {USB Playlist (USB 再生一覧)} の順に選択した場合は、プレイリストを設定してください。{ソース} → {インターネット} の順に選択した場合は、URL アドレスを設定してください。

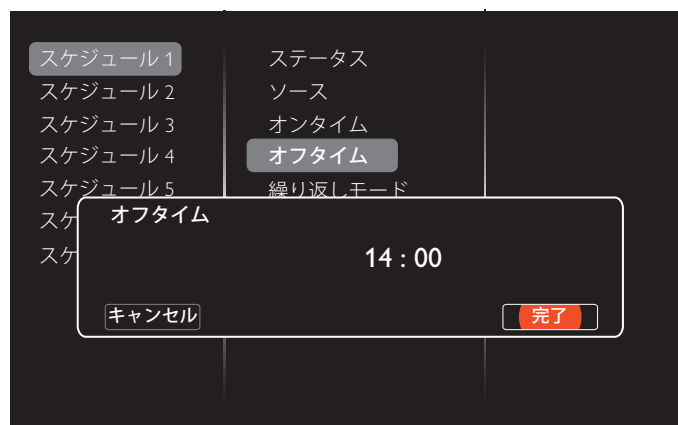
注記:{ソース} → {Autoplay (自動再生)} の順に選択した場合は、USB のルートディレクトリに「philips」という名前のフォルダーを作成し、フォルダーに表示するファイル (画像またはビデオ) を配置してください。



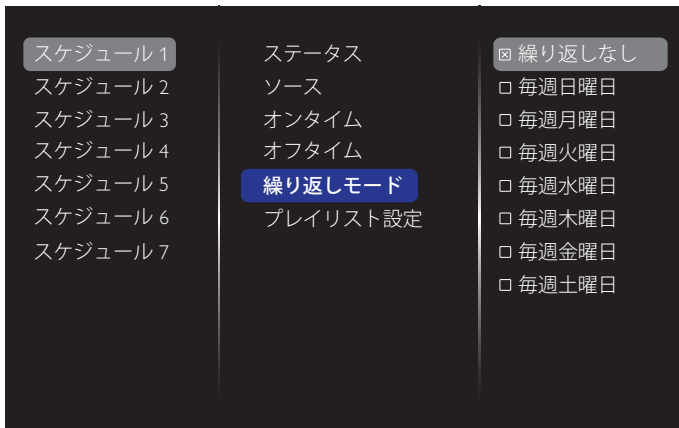
- オンタイム**を設定します。



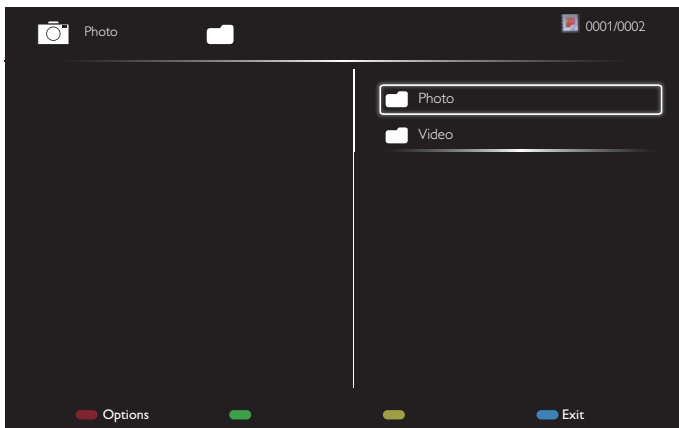
- オフタイム**を設定します。



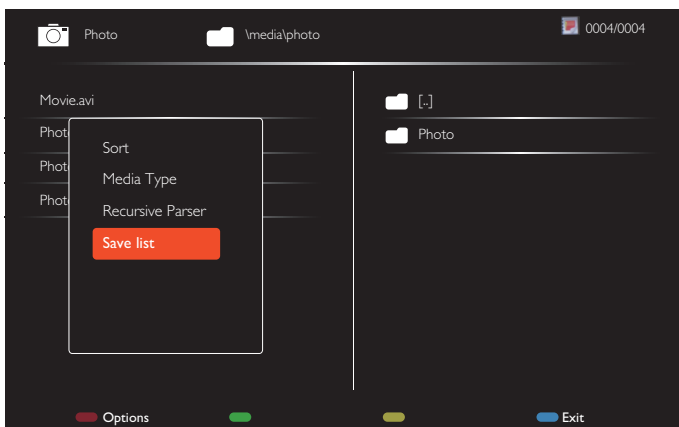
5. 繰り返しモードで繰り返しモードを選択します。



6. {ソース} → {USB} の順に選択した場合は、プレイリスト設定に移動します。



- [⏪] [⏩] ボタンを押し、ファイルを選択します。
 - [⏴] [⏵] ボタンを押し、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
 - [OK] ボタンを押し、プレイリストを設定または消去します。
7. プレイリストを保存するには、[⏴] を押し、[Save list (保存リスト)] を選択します。



メモ:

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {工場出荷時設定} で、デフォルト設定に設定した場合でも、プレイリストはクリアされません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

事前に設定した時間が経過した後、ディスプレイをオフにします。

OneWire (1 線式)

本ディスプレイの HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーボードロック

本ディスプレイのキーボード (コントロールボタン) 機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロックする}: すべてのキーボード機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [-] および [+] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [|] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外をロックする}: [-] および [+] ボタン以外のすべてのキーボード機能を無効にします。

RC ロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: リモコン機能を有効にします。
- {すべてロックする}: すべてのリモコン機能をロックします。
- {音量以外をロックする}: [-] および [+] ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。
- {電源以外をロックする}: [|] 電源 ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。
- {音量と電源以外をロックする}: [-] [+] および [|] 電源 ボタン以外のすべてのリモコン機能を無効にします。

注記: ローカルキーボードロックまたは RC ロックのロック機能を無効にするには、リモコンの [⬆] ボタンと 1998 を押します。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本ディスプレイを使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「後イメージ」からディスプレイを保護するために、{オン} を選択して画面イメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです: {オフ}, {標準}, {中}, {高} 時計をから選択します。

ウェイクオン LAN

{オン} を選択し、ネットワーク経由でディスプレイをオンにします。

電源オン

電源コードを次回接続するとき、ディスプレイに適用するステータスを選択します。

- {オン} - 電源コードが壁コンセントに接続されているとき、ディスプレイはオンのままになります。
- {スタンバイ} - 電源コードを取り付けた後、ディスプレイはスタンバイモードになります。
- {最新ステータス} - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源状態 (オン / オフ / スタンバイ) に戻ります。

光センサ

{オン}を選択すると、画面はバックライトを自動的に調整します。このオプションは、CRD41を接続したときにのみ利用できます。

Human sensor (人感センサー)

人の存在を検出した場合、バックライトを点灯するようにディスプレイを設定します。また、事前設定した時間の経過後、バックライトを消灯するようにディスプレイを設定します。

オプションは次の通りです:{オフ,10 ~ 60}分。この項目は、CRD41を接続したときにのみ利用できます。

Power LED Light (電源 LED 照明)

電源 LED インジケータをオフにするには {オフ} を選択します。

ロゴを表示する

{オフ}を選択すると、ディスプレイに電源を入れるとき、Philips ロゴが表示されます。

Advanced power management (アドバンスド電源管理)

この機能が {オン} に設定されているとき、信号が検出されない場合、ディスプレイは自動的に電源が切れます。

Source notification (ソース通知)

[|] 電源ボタンを押して本ディスプレイをスタンバイモードからオンにしたり、入力信号を変更した場合には、情報 OSD が画面の左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには {オフ} を選択します。

DisplayPort Ver.

DisplayPort バージョンを 1.1a または 1.2 に設定します。この設定は DisplayPort の入力と出力でのみ有効です。

1.1a: DisplayPort バージョンを 1.1a (デフォルト) に切り替えます。DisplayPort 出力は DisplayPort 入力のクローンです。

1.2: DisplayPort バージョンを 1.2 に切り替え、MST (マルチストリーム移送) をサポートします。

メモ:

- DisplayPort ソースの下で画面が暗くなったり、異常な状態になった場合、1.1 a に切り替え、電源を入れ直してください。
- DP デイジーチェーンアプリケーションの場合は、すべての PD で同じ DP バージョンを選択してください。

冷却ファン

冷却ファンを常に回しておくには {オン} を選択します。{オート} を選択すると、ディスプレイの温度に応じて冷却ファンの電源がオンまたはオフになります。

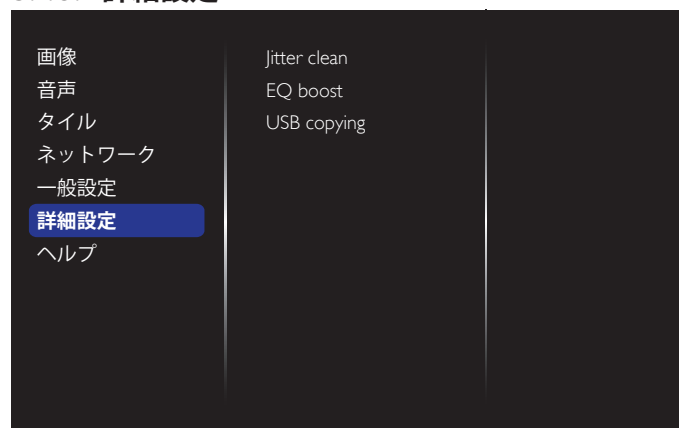
メモ:

- デフォルトの {オート} オプションでは、温度が 45°C (113°F) に達すると冷却ファンが回り始めます。温度が 43°C (109°F) に達すると、冷却ファンは動作を停止します。
- 温度が 58°C (136°F) に達すると、画面に温度警告メッセージが表示されます。[|] キー以外は機能しなくなります。
- 温度が 60°C (140°F) に達すると、本ディスプレイの電源は自動的にシャットダウンされます。

工場出荷時設定

カスタマイズされたすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.6. 詳細設定



Jitter clean (ジッタークリーン)

HDMI および DVI の信号品質を強化させるため、Jitter clean のオン / オフを切り替えます。デフォルト設定はオンです。

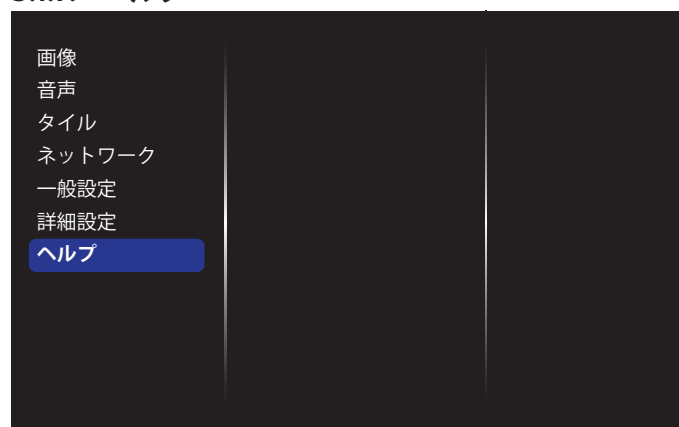
EQ boost (EQ ブースト)

デジタル信号 EQ boost を調整します。

USB copying (USB コピー)

「Welcomelogo.png」のユーザーロゴを内部メモリにコピーします。

5.1.7. ヘルプ



6. USB デバイス互換性

USB 動画サブタイトルのフォーマット (言語字幕など)

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレームレート (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE- AAC(v1&v2)、 DVD-PCM
		MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24,25,30Hz 1280x720p@ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
		MVC	1920x1080i @ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p @ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24,25,30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	AAC
.ism/ Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p,30p,50p,60p,60i	30	AAC/HE- AAC(v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24,25,30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	AAC/HE- AAC(v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@ フレームレート = 50、60Hz 1920x1080p@ フレームレート = 24、25、 30Hz 1280x720p @ フレームレート = 50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p, 60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC (v1&v2)、 WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

USB マルチメディアのフォーマット

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2、最大 V9.2)	-	-	48	192	WMA
.wma	WMA Pro	-	-	96	768	WMA、WMA Pro
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC,HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	再生一覧	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC,HE-AAC(v1&v2)

USB 画像のフォーマット

ファイル 拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	最大解像度	周波数	最大ビット レート	オーディオ コーデック
jpg/jpeg	JPEG		ベースライン： カラーモード = 444、 サイズ <= 32768x16128 カラーモード = 422v、 サイズ <= 16384x16128 カラーモード = その他、未対応	-	-	-
bmp	BMP		4096x3072_4bit、 2730x2500_8bit、 2048x1536_16bit、 1500x1200_32bit	-	-	-
png	PNG		4096x3072_4bit、 2730x2500_8bit、 2048x1536_16bit、 1500x1200_32bit	-	-	-
gif	GIF		4096x3072_4bit、 2730x2500_8bit、 2048x1536_16bit、 1500x1200_32bit	-	-	-

メモ:

- ・ コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
- ・ コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になる可能性があります。

7. 入力モード

VGA 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュ レート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオ グラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

HD 解像度：

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュ レート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

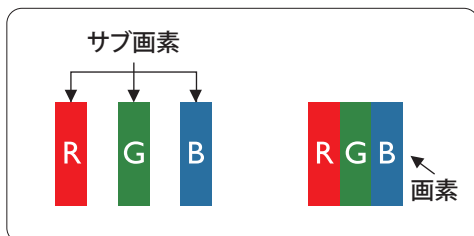
- ・ PC のテキスト品質は、HD 1080 モード (1920 × 1080、60Hz) で最適です。
- ・ お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- ・ PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- ・ 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz (垂直) と 31.5KHz (水平) を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（縞模様など）が画面に表示されることがあります。その場合はディスプレイ本体の「INPUT」ボタンもしくは、リモコンの「SOURCE」ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- ・ 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- ・ 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- ・ DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- ・ 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用される PDP / TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

8.1. 画素とサブ画素



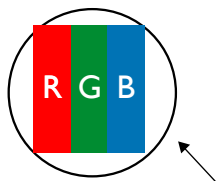
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色が付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色が付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？

1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

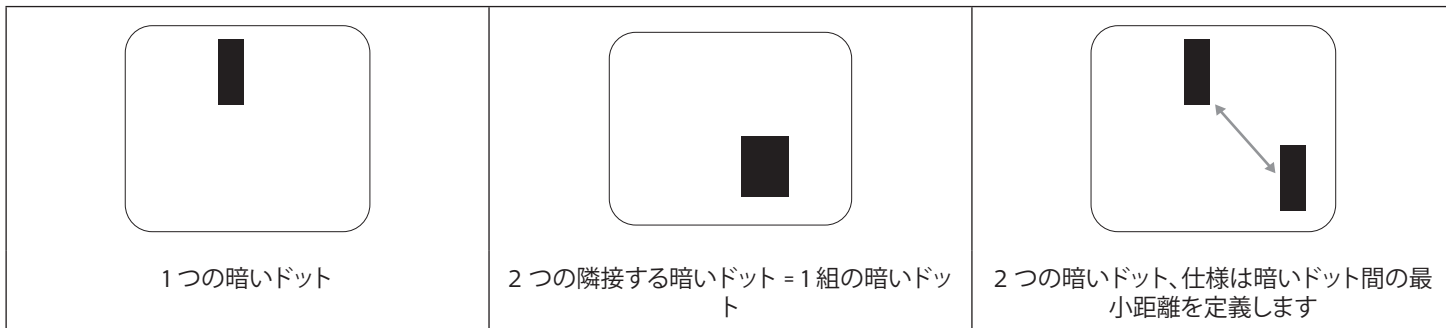
8.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

<p>1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。</p>	<p>2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)</p>	<p>3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)</p>

8.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します：



8.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はととも目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- ・ 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- ・ 暗いドット間の最小距離
- ・ すべての欠陥ドットの総数

8.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ / LCD ディスプレイの PDP / TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記:*1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

8.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の均一でないパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり1日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからなくなることはない現象です。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

MURA を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します：

- ・ 結晶マトリックスの混入物または異物
- ・ 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- ・ バックライトの付近位置な輝度分布
- ・ パネル部品誘発ストレス
- ・ LCD セル内部の傷
- ・ 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

MURA を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます：

- ・ バックライトの明るさを下げる
- ・ スクリーンセーバーを使用する
- ・ 装置周囲の空気温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

製品を使用する際の注意

- ・ 手や顔、物をディスプレイの通気口に近づけないで下さい。ディスプレイ上部は、通気口から放出される排気のため高温となっており、身体の一部を近づけ過ぎると火傷や怪我をすることがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、当該物およびディスプレイ本体に、熱による破損が生じる可能性があります。
- ・ ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- ・ 清掃や保守作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。


前面パネル清掃手順

- ・ ディスプレイの液晶パネル部は非常にデリケートです。表面はクリーニング用のクロスか、柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いて下さい。
- ・ 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って余分な水分を取り除いた上で、液晶パネル表面を拭き埃を除いて下さい。その後、同じ種類の乾いた布で拭いて下さい。
- ・ 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- ・ 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- ・ キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いて下さい。
- ・ キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って水分を取り除いた上で、キャビネット表面を拭きます。その後、別の乾いた布で拭いて表面を乾かして下さい。
- ・ プラスチック部品の洗浄に油を含む溶液を使用しないでください。こういった溶液はプラスチック部品を損傷し、保証を無効にします。
- ・ 液晶パネル表面は、水や洗剤にさらさないようにして下さい。水分がディスプレイ内部に入り込むと、動作不良や故障、感電事故が起こる恐れがあります。
- ・ キャビネットを爪で引っ掻いたり、硬い物をぶつけたりしないで下さい。
- ・ キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。
- ・ ゴム製品またはポリ塩化ビニール製品を長期間キャビネット付近に置かないで下さい。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. ディスプレイに入力ソースを接続します。
本製品で表示される映像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少ない場所にディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示映像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。 3. 画面設定メニューのズームモードまたは CUSTOM ZOOM メニューで、画像の配置を調整します。 	画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソース信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. {消音} がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	ディスプレイの一部のピクセルがオフになっています。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3 の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像を長時間表示した。	静止画像を長時間表示しないで下さい。ディスプレイ上に残像が表示される原因となります。

10. 保証に関する声明

PHILIPS サイネージ表示の保証期間は以下のとおりです。この表に記載されていない地域については、保証書に従ってください。

地域	保証期間
米国、カナダ	3年
中国	1年
アジア太平洋	3年
欧州	3年
ブラジル	3年

11. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
	55BDL4007X
画面サイズ (アクティブ領域)	54.6" (138.7 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	1920 (水平) x 1080 (垂直)
画素ピッチ	0.63 (横) x 0.63 (縦) [mm]
表示可能色	10 ビット、10 億 7000 万色
輝度 (標準)	700 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	1200:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目		仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー	10W (左) + 10W (右) [RMS]/8Ω 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	フォンジャック x 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
音声入力	RCA ジャック x 2 3.5mm ステレオ x 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
RS232 入力 / 出力	2.5mm フォンジャック x 2	RS232 入力 / RS232 出力
IR 入力 / 出力	3.5mm フォンジャック x 2	IR 入力 / IR 出力
RJ-45 入力 / 出力	RJ-45 ジャック x 2 (8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 (タイプ A) (18 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、3840 x 2160/30 Hz 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック	デジタル RGB: TMDS (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック x 1 (15 ピン)	アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 1920 x 1080/60 Hz (FHD)
DVI-I (DVI-D & VGA) 出力	DVI-I ジャック x 1 (29 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2k Ω)、SOG: 1V [p-p] (75 Ω) 最大: 1920 x 1080/60 Hz (FHD)
コンポーネント入力	BNC ジャック x 3	Y: 1V [p-p] (75 Ω)、Pb: 0.7V [p-p] (75 Ω)、Pr: 0.7V [p-p] (75 Ω) 最大: 480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
ビデオ入力	BNC x 1 (Component_Y と共有)	コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート イン / アウト	ディスプレイポート ジャック x 2 (20 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p、1080p、3840 x 2160/30Hz 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート

一般:

項目	仕様
	55BDL4007X
電源	AC 100 - 240V、50/60Hz
消費電力(最大)	360 W
消費電力(標準)	165 W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5W
寸法 [幅 x 高さ x 奥行き]	1211.4 x 682.2 x 97.27 mm (壁取り付けの場合の奥行)/98.42 mm (ハンドルの場合の奥行)
重量	24.87 Kg
総重量	34.3 Kg
エネルギー効率クラス	B
オンモード消費電力(W)	113 W
年間消費電力(kWh)	165 kWh
スタンバイ消費電力(W)	<0.50 W
オフモード消費電力(W)	0 W
ディスプレイ解像度(ピクセル)	1920 x 1080
ネットワークスタンバイ(W)	2W

環境条件:

項目		仕様
温度	操作時	0 ~ 40° C
	Storage (ストレージ)	-20 ~ 60° C
湿度	操作時	20 ~ 80% RH (結露なし)
	Storage (ストレージ)	5 ~ 95% RH (結露なし)
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m



2021 © TOP Victory Investments Ltd. 無断複製および転載を禁
じます。

本製品は、Top Victory Investments Ltd.,によって製造され、
その責任の下で販売されており、Top Victory InvestmentsLtd.,
が本製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilipsShield
Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、
ライセンスに基づいて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン:V1.01 2021-11-19